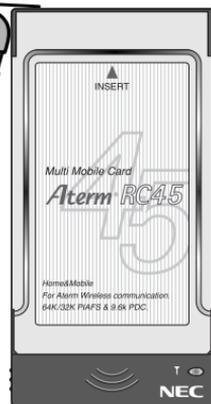
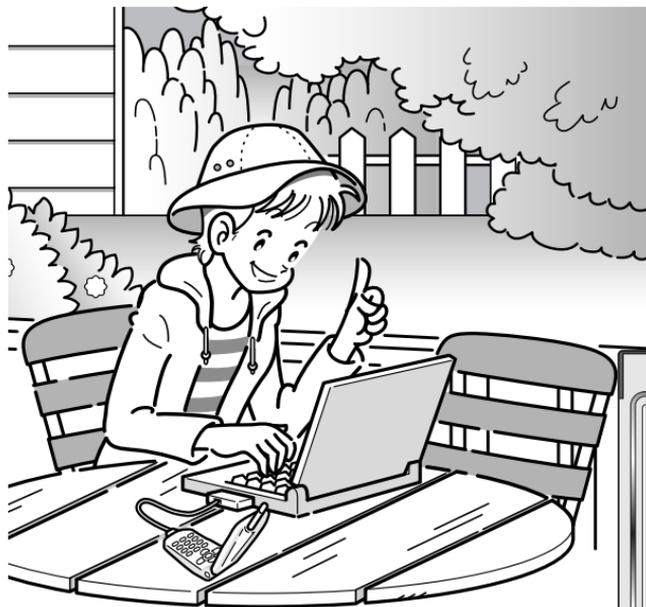


**NEC**

# *Aterm*<sup>®</sup> RC45 取扱説明書

(PC-IW/RC45)

マルチモバイルカード



## 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いません。また、当社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポートなどはおこなっていません。

## ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの纯粹経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Windows、WindowsCEは米国 Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標です。

Netscape Navigatorは米国 Netscape Communications Corporationの登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などをおこなうことはできません。

## はじめに

このたびは Aterm<sup>エーターム</sup>RC45 (以下 RC45 と称します) をお買い上げいただきありがとうございます。

RC45 は、Aterm のワイヤレスシリーズ親機にワイヤレス子機として接続できるマルチモバイルカードです。ワイヤレスシリーズ親機があれば、家中どこからでも面倒な配線なしでインターネットに接続できます。

また、デジタル携帯電話とつないで公衆携帯電話網 (デジタル移動通信網) と通信したり、PHS とつないで公衆 PHS 網と通信ができます。RC45 はどちらの公衆電話網とも通信ができるデータ通信カードとしてお使いになれますので、外出先でもインターネットに接続することができます。

本装置を使用するにはワイヤレスシリーズ親機 (AtermIWX70、WM56、IW50/D、WX1、IW60、IW60HS DSU) または本装置に接続可能な NTT DoCoMo、au、Tu-Ka、J-PHONE の携帯電話または NTT DoCoMo、ASTEL の PHS が必要です。

RC45 をワイヤレス子機としてご使用になるには増設登録 (ID 登録) が必要です。登録はお近くの NEC 保守サービス受付拠点または PC クリーンスポット、お買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでご相談ください。販売店によっては受け付けていない場合がありますので電話でご確認ください。

本装置をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

# 目次

はじめに.....	1
安全に正しくお使いいただくために .....	7
本書について .....	11
セットアップガイドの見かた .....	12
電子マニュアルの見かた .....	13

## 1. ご使用の前に..... 15

1-1. RC45 ができること .....	16
親機経由でインターネットに接続する .....	16
携帯電話でインターネットに接続する .....	18
PHSでインターネットに接続する .....	19
内線データ通信をする .....	20
1-2. お使いになる前に .....	21
親機経由で使うには .....	21
携帯電話または PHS を接続して使うには .....	22
インターネットに接続するには .....	23
1-3. 箱の中身を確認する .....	24
添付ユーティリティの役割 .....	25
1-4. 各部の名前とはたらき .....	26
RC45 本体 .....	26
携帯電話接続ケーブル .....	28
PHS 接続ケーブル .....	28

## 2. RC45 を使用するまでの流れ..... 29

2-1. RC45 のつなぎかた .....	30
RC45 の取り付けかた .....	30
RC45 の取り外しかた .....	33
2-2. インターネットに接続するまでの流れ .....	35

## 3. Windows 98/Windows 95 をお使いの方は..... 37

3-1. モデム情報ファイルをインストールする .....	38
Windows 98 をお使いの方は .....	38
Windows 95 をお使いの方は .....	41

3-2. ネットワークの設定をする .....	44
ダイヤルアップネットワークの確認 .....	44
ネットワークプロトコルの設定 .....	47
3-3. らくらくアシスタントで設定する .....	51
らくらくアシスタントとは .....	51
らくらくアシスタントのインストール .....	52
らくらくアシスタントの起動のしかた .....	56
らくらくアシスタントで設定する .....	59
3-4. インターネットに接続する .....	66
接続を確認する .....	66
ホームページを見る .....	69
RC45 センターを利用する .....	71
<b>4. Windows2000 をお使いの方は.....</b>	<b>73</b>
4-1. モデム情報ファイルをインストールする .....	74
モデム情報ファイルのインストール .....	74
4-2. らくらくアシスタントで設定する .....	81
らくらくアシスタントとは .....	81
4-3. インターネットに接続する .....	83
接続を確認する .....	83
ホームページを見る .....	86
RC45 センターを利用する .....	88
<b>5. WindowsCE をお使いの方は.....</b>	<b>89</b>
5-1. ネットワークの設定をする .....	90
リモートネットワークの設定 .....	90
5-2. インターネットに接続する .....	98
ホームページを見る .....	98
<b>6. 困ったときには.....</b>	<b>101</b>
6-1. 困ったときのQ&A .....	102
6-2. Aterm についてのお問い合わせ .....	107
インフォメーションサービス .....	107

6-3. アフターサービス .....	108
修理と現地調整・保守契約 .....	108
持ち込み修理先一覧 .....	110
6-4. PC クリーンスポット .....	114
訪問サポートサービス内容 .....	115
<b>7 . 付録 .....</b>	<b>117</b>
7-1. 接続する親機を選択 .....	118
システム番号切り替え .....	118
7-2. ハイパーターミナルの使いかた .....	119
接続を確認する .....	119
7-3. ホームページ『AtermStation』.....	122
主なメニュー .....	122
AtermStation ホームページアドレス .....	122
7-4. 内線データ通信 .....	123
親・子機間通信 .....	123
子機間通信 .....	123
発信のしかた .....	124
ファイルの共有 .....	126
7-5. RC45 仕様 .....	127
7-6. 用語集 .....	128
<b>索引 .....</b>	<b>131</b>

# 目次

## (電子マニュアル)

添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RC45 ユーティリティ集』には、取扱説明書に掲載されていない以下の内容がPDFファイルで収録されています。必要に応じて参照してください。PDF ファイルについては、P.13 を参照してください。

### データ通信ガイド (ファイル名: 通信ガイド.pdf)

#### 1. IWX70・RC45 をバージョンアップする

- 1-1. IWX70 をバージョンアップする
- 1-2. RC45 をバージョンアップする

#### 2. 手動セットアップ

- 2-1. IWX70 の USB ドライバの手動インストール (Windows98/Windows95)
- 2-2. IWX70 の USB ドライバの手動インストール (Windows2000)
- 2-3. IWX70 の USB ドライバの手動インストール (Macintosh)
- 2-4. RC45 のインターネット接続の手動設定 (Windows98/Windows95)
- 2-5. RC45 のインターネット接続の手動設定 (Windows2000)
- 2-6. IWX70 のインターネット接続の手動設定 (Windows98/Windows95)
- 2-7. IWX70 のインターネット接続の手動設定 (Windows2000)

2-8. IWX70 のインターネット接続の手動設定 ( Macintosh )

2-9. IWX70 のインターネット接続の手動設定  
( WindowsNT4.0 )

### 3. データ通信の機能

#### 3-1. データ通信の機能

非同期 / 同期 PPP 変換  
128kbps マルチリンク PPP 通信  
BOD  
PIAFS ( ピアフ ) 通信  
マルチアクセス  
ITMUX  
通信モード指定発信  
無通信監視タイマ  
強制切断タイマ  
スティルスコールバック  
応答平均化  
HLC  
CTI 機能

#### 3-2. IWX70 のメール機能

### 4. USB ネットワーク

#### 4-1. USB ネットワークとは

#### 4-2. Windows98/Windows95 の場合

#### 4-3. Windows2000 の場合

#### 4-4. 外部から着信可能なダイヤルアップサーバ

### 5. AT コマンド

#### 5-1. AT コマンドとは

#### 5-2. IWX70 用 AT コマンド

#### 5-3. RC45 用 AT コマンド

**解説** ( ファイル名 : 用語解説 .pdf )

# 安全に正しくお使いいただくために

## 安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

### 絵表示の例

-  記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

## 警告

### こんなときは

#### 発煙した場合

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置を接続しているパソコンの電源プラグをコンセントから抜いて、電源をOFFにしてください。煙や異臭が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



## ⚠ 警告

### 水がかかった場合

万一、水などがかった場合は、すぐに本装置を接続しているパソコンの電源プラグをコンセントから抜いて、電源を OFF にし、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



### 破損した場合

パソコンに本装置を装着しているときに万一、落したり破損した場合は、すぐに本装置を接続しているパソコンの電源プラグをコンセントから抜いて、電源を OFF にし、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



本装置を破損した場合は、パソコンに装着しないでください。

## 禁止事項

本装置は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

### 分解・改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



### ぬらすことの禁止

本装置に水が入ったりぬらしたりしないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。



### ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本装置に触れたり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



## ⚠ 警告

### 設置場所

#### 使用禁止区域での注意

航空機内や病院内などの携帯電話の使用を禁止された区域では、本装置は使用しないでください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因となります。



## ⚠ 警告

#### ペースメーカを装着されている方の注意

植え込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本装置をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。



## ⚠ 注意

### 禁止事項

#### 乗ることの禁止

本装置の上に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



### その他のご注意

#### 雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、本装置に接続されているパソコンの電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



## STOP お願い

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所での使用は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所

本装置を一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

子機（本装置）と親機（ワイヤレスターミナルアダプタ、ワイヤレスモデムステーション）間で電波の届く範囲は見通しで約100mですが、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなる場合があります。また距離が近すぎると、データ通信でエラーが発生する場合があります。

本装置とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通話やデータ通信が切れる場合があります。

また通話にノイズが入ったり、ファクスのデータが正しく送れない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

## 日ごろのお手入れ

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

# 本書について

本書は以下の構成になっています。

3～5章はお使いの環境に応じて必要な章をお読みください。

章		内容
1章	ご使用前に	RC45の利用方法の紹介と、各部の名前や確認していただきたいことを説明します。
2章	RC45を使用するまでの流れ	パソコン、モバイルギア にRC45を取り付ける方法と、インターネットに接続するまでの流れを説明します。
3章	Windows98/Windows95をお使いの方は	Windows98/Windows95を搭載したパソコンとRC45を使ってインターネットに接続する手順を説明します。
4章	Windows2000をお使いの方は	Windows2000を搭載したパソコンとRC45を使ってインターネットに接続する手順を説明します。
5章	WindowsCEをお使いの方は	WindowsCEを搭載したモバイルギアとRC45を使ってインターネットに接続する手順を説明します。
6章	困ったときには	「接続ができない」などのトラブルが起きたときの解決方法と、お問い合わせ先を紹介합니다。
7章	付録	RC45が複数の親機に登録してある場合の親機の選択方法や、ハイパーターミナルの使いかたなどについて紹介します。

## セットアップガイドの見かた

添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RC45 ユーティリティ集』には RC45 を使うために必要なユーティリティのほかに、RC45 の使い方をご紹介します「セットアップガイド」が収録されています。RC45 をお使いになる前に、ぜひご覧ください。

- 1 パソコンの電源を入れ、添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RC45 ユーティリティ集』をセットします。

自動的にメニュー画面が表示されます。画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

[セットアップガイド]のメニュー画面が表示され、説明が始まります。

- 2 メニュー画面のボタンをクリックして順番にご覧ください。



「セットアップガイド」は RC45 と別売のワイヤレスシリーズ親機「AtermIWX70」を組み合わせ、IWX70 経由で接続する手順を説明しています。親機に AtermIWX50/D、または AtermWM56 をお使いの場合は [CD-ROM の終了] ボタンをクリックして、セットアップガイドを終了させてください。

## 電子マニュアルの見かた

添付CD-ROM『AtermIWX70&RC45ユーティリティ集』には、PDF形式で電子マニュアルが収録されています。本取扱説明書には掲載されていない内容も収録されていますので、必要に応じて参照してください。

PDFファイルをパソコンで見るにはAcrobat Reader 3.0以上が必要です。Acrobat Readerをお持ちでない場合やお持ちのもので表示できない場合などは、CD-ROMに収録されているAcrobat Readerをインストールして使ってください。

- 1 パソコンの電源を入れ、添付CD-ROM『AtermIWX70&RC45ユーティリティ集』をセットします。

自動的にメニュー画面が表示されます。画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

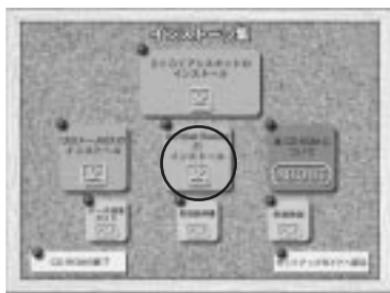
[セットアップガイド]のメニュー画面が表示され、説明が始まります。

- 2 [セットアップガイドを見ないでインストール]をクリックします。



- 3 読みたい電子マニュアルのボタンをクリックします。

Acrobat Readerをインストールするときは[Acrobat Readerのインストール]をクリックします。





# 1 . ご使用の前に

RC45 の利用方法の紹介と、各部の名前や確認していただきたいことを説明します。

RC45 できること



お使いになる前に



箱の中身を確認する



各部の名前とはたらき

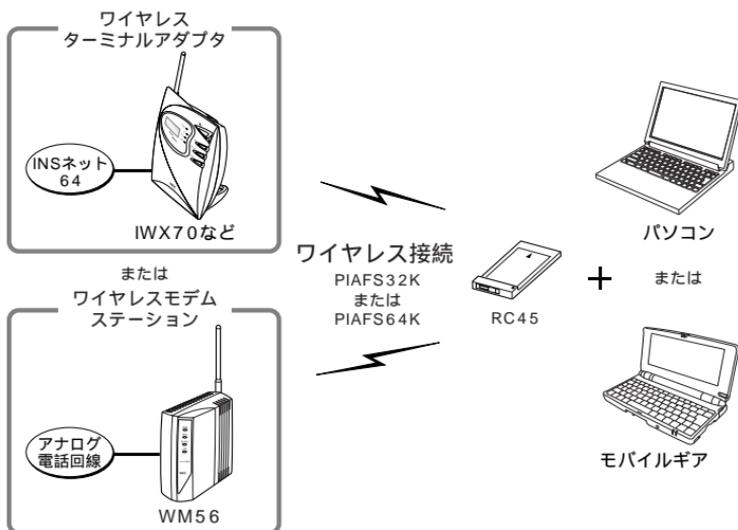
Windows® 2000 は Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。  
Windows® 98 は Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。  
Windows® 95 は Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。  
Windows® CE は Microsoft® Windows® CE operating system の略です。

## 1-1. RC45 ができること

RC45は、ワイヤレスシリーズ親機（AtermIWX70、WM56、IW50/D、WX1、IW60、IW60HS DSU）の子機として使用できるマルチモバイルカードです。家ではワイヤレスシリーズ親機経由でINSネット64またはアナログ電話回線からインターネットに接続し、外出先では携帯電話またはPHSでインターネットに接続する、といった使い分けができます。

### 親機経由でインターネットに接続する

RC45の無線機能でワイヤレスシリーズ親機を経由し、INS ネット64またはアナログ電話回線に接続してインターネットが利用できます。



RC45 に対応するワイヤレスシリーズ親機  
(平成 12 年 7 月現在)

ワイヤレスシリーズ親機	親機の接続回線	無線区間の通信速度(親・子機間)	回線経由での最高通信速度
AtermWM56	アナログ電話回線	PIAFS32K または PIAFS64K	受信時56kbps 送信時33.6kbps
AtermIWX70 AtermIW50/D	INSネット64		58.4kbps
AtermWX1 AtermIW60* AtermIW60HS DSU		PIAFS32K	29.2bps

\* IW60を親機として使用した場合



RC45 が接続できるパソコンは、PCMCIA2.1/JEIDA V4.2 以降に対応した PCMCIA Type スロットを搭載している Windows® 2000/Windows® 98/Windows® 95 のパソコンです。

接続の確認ができていないモバイルギア は Windows CE 3.0 を搭載した NEC MC-R700、MC-R520、MC/R320 です。(平成 12 年 7 月現在)

接続の実効速度はパソコンやプロバイダ、無線区間の電波状態などによって変動します。

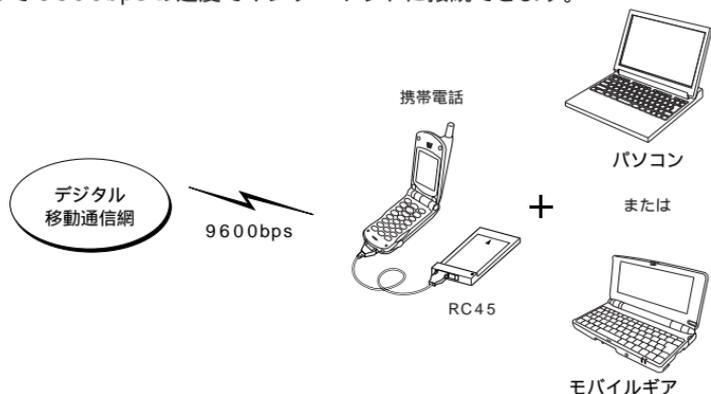
AtermWM56 は回線の状況によって通信速度が変化します。

着信のときは相手からの通信速度を自動的に判別して着信します。

ワイヤレスシリーズ親機から RC45 に電波が届く範囲は、あいだに障害物が何もない状態で約 100m です。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、他の電波を出す機器の有無などの設置環境によっては 100m 以内でも電波が届かない場合があります。

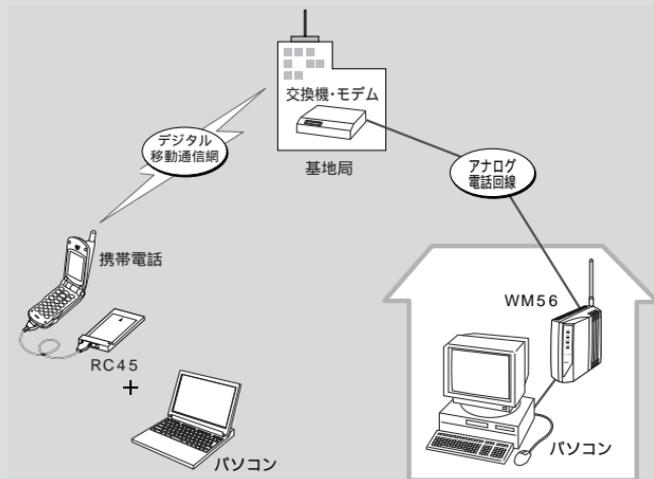
## 携帯電話でインターネットに接続する

RC45に携帯電話をつなぎ、デジタル移動通信網(公衆携帯電話網)を経由して9600bpsの速度でインターネットに接続できます。



お知らせ

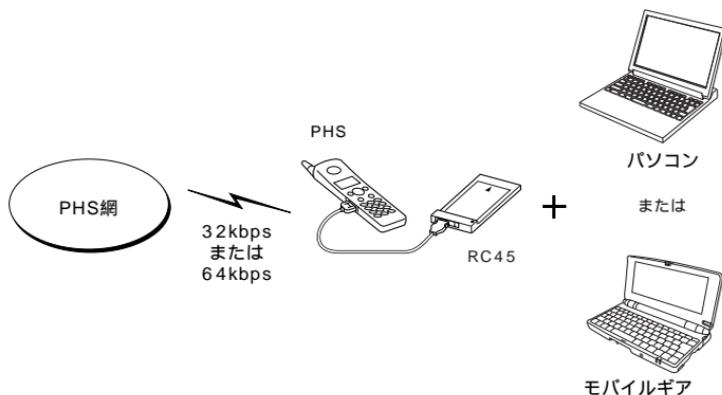
携帯電話を用いた9600bps通信は、アナログモデムに直接ダイヤルして通信をおこなうことができます。



パケット通信、cdmaOneには対応していません。

## PHS でインターネットに接続する

RC45 に PHS をつなぎ、PHS 網を経由して 64kbps または 32kbps の速度でインターネットに接続できます。



お知らせ

RC45 に接続ができる携帯電話、PHS の機種は下記でご確認ください。

『AtermStation』ホームページ <http://atarm.cplaza.ne.jp/>  
(平成 12 年 7 月現在)

ご利用の前に

RC45 を使用する  
までの流れ

Windows98/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

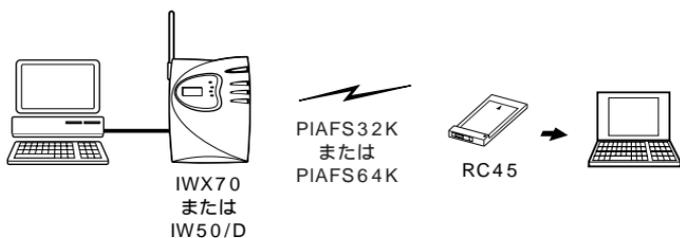
困ったときには

付録

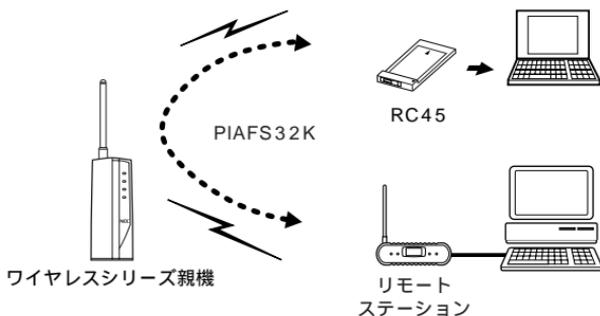
## 内線データ通信をする

RC45がワイヤレスシリーズ親機に収容されている場合は、親機やAtermRS20などのリモートステーションとのあいだで内線データ通信ができます。

親・子機間通信



子機間通信



着信のときは相手からの通信速度を自動的に判別します。

## 1-2. お使いになる前に

RC45 をお使いになる前に、以下の確認をしてください。

### 親機経由で使うには

別売のワイヤレスシリーズ親機を利用してRC45からインターネットに接続する場合は、増設登録と親機の無線ポートの設定が必要です。

### 増設登録

RC45をワイヤレスシリーズ親機の子機として登録する増設登録(ID登録)が必要です。増設登録はNEC保守サービス受付拠点(P.110)またはPCクリーンスポット(P.114)にお買い上げいただいた販売店で有料にて承りますので、お問い合わせください。なお、販売店によっては受け付けていない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

### 親機の無線ポートの設定

ワイヤレスシリーズ親機で無線ポートの設定をします。  
詳細はお使いになるワイヤレスシリーズ親機の取扱説明書を参照してください。



1台のRC45を最大4台のワイヤレスシリーズ親機の子機として増設登録できます。ただし、同時に通信が可能なワイヤレスシリーズ親機は1台です。(「7-1. 接続する親機を選択」 P.118)



1台のワイヤレスシリーズ親機に同一のRC45を重複して増設登録しないでください。

## 携帯電話または PHS を接続して使うには

携帯電話またはPHSをRC45につないでインターネットに接続する場合は、次の点を確認してください。

### 対応機種の確認

接続する携帯電話またはPHSの機種を確認してください。接続できる機種は、下記でご確認ください。

『AtermStation』ホームページ <http://aterm.cplaza.ne.jp/>  
(平成12年7月現在)

### PHS の待ち受けモードの設定

PHSの待ち受けモードにはPHS網から電話をかけたり通信したりするときの「公衆モード」、会社内で内線電話機として使ったりワイヤレスシリーズ親機の子機として使用するときの「オフィスモード」(構内モード)、公衆モードとオフィスモードの両方が使える「デュアルモード」や「オートモード」などがあります。

RC45にPHSをつないでインターネットに接続するときは、PHSの通信モードを「公衆モード」にしてください。PHSをワイヤレスシリーズ親機の子機として増設登録している場合に、内線通話などで使用するときは「オフィスモード」に変更します。

待ち受けモードについての詳細は、PHSに添付されている取扱説明書を参照してください。

### ドッチーモの設定

ドッチーモはカード選択(カード設定)機能によって、デジタル移動通信網(公衆携帯電話網)に接続するか、PHS網に接続するかが選択できます。RC45をドッチーモに接続するときはドッチーモの設定を「自動切替」にします。

ドッチーモの設定については、ドッチーモに添付されている取扱説明書を参照してください。

## インターネットに接続するには

プロバイダとの契約  
インターネットに接続するには、インターネット接続業者(プロバイダ)との契約が必要です。

申し込み方法などの詳細はプロバイダにお問い合わせください。

ホームページを表示するソフトウェア

ホームページを表示するには、『Internet Explorer(インターネット・エクスプローラ)』や『Netscape Navigator(ネットスケープ・ナビゲータ)』などのブラウザソフトが必要です。ブラウザソフトは、ほとんどのパソコンまたはモバイルギア にいずれかのソフトが添付されています。詳細はパソコンの取扱説明書、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

電子メールを送受信するソフトウェア

電子メールを送受信するには、『Outlook Express(アウトルック・エクスプレス)』などの電子メールソフトが必要です。電子メールソフトは、ほとんどのパソコンまたはモバイルギア に添付されています。詳細はパソコンの取扱説明書、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

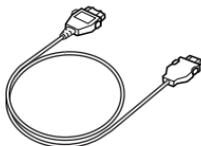
## 1-3. 箱の中身を確認する

箱を開けたら次のものがそろっているか確認してください。不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

AtermRC45 本体

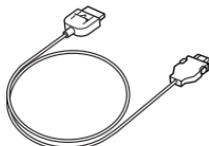


携帯電話接続ケーブル



携帯電話またはドッチーモとRC45を接続するケーブルです。

PHS 接続ケーブル

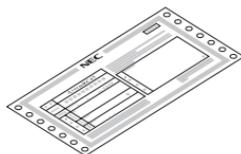


PHS と RC45 を接続するケーブルです。

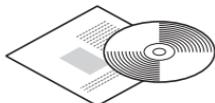
取扱説明書（本書）



保証書



CD-ROM  
「AtermIWX70&RC45 ユーティリティ集」



Windows2000/98/95のパソコンで設定するためのソフトウェアが収録されています。

フロッピーディスク  
「モデム情報ファイル」



Windows2000/98/95用のモデム情報ファイルが収録されています。

## 添付ユーティリティの役割

添付CD-ROM『AtermIWX70&RC45ユーティリティ集』と、フロッピーディスク『モデム情報ファイル』には次のユーティリティが収録されています。各ユーティリティの役割と対応するOSは次のとおりです。

ユーティリティソフト	役割	Windows 2000	Windows 98/ Windows 95	Windows CE
モデム情報ファイル	RC45をインターネットの接続に使用するモデムとして設定するためのファイルです。			-
IWX70 & RC45 らくらくアシスタント	インターネットに接続するための設定が簡単に行えます。RC45と別売のワイヤレスシリーズ親機IWX70の設定が行えます。			-
AtermRC45 ユーティリティ	インターネットに接続するための設定が簡単に行えます。別売のワイヤレスシリーズ親機がWM56、IW50/Dの場合にRC45の設定をします。			-
RC45 センター	RC45とワイヤレスシリーズ親機間の電波状態を表示します。また複数登録した接続先から1つを選択してダイヤルすることができます。			-
RC45 らくらくバージョンアップ	RC45に記憶されているファームウェアをバージョンアップし、新しい機能を追加します。			-



お知らせ

添付CD-ROMには、上記のすべてのユーティリティソフトが収録されています。フロッピーディスクには「モデム情報ファイル」だけが収録されています。

RC45の設定は親機によって異なります。

1 使用の前に

RC45を使用する  
までの流れ

Windows 98/Windows 95  
をお使いの方は

Windows 2000  
をお使いの方は

Windows CE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

## 1-4. 各部の名前とはたらき

### RC45 本体

① PCカードスロット接続コネクタ



② 状態表示LED

③ ケーブル接続コネクタ (16芯)

- ① PC カードスロット接続コネクタ  
パソコンまたはモバイルギア のPCカードスロット(Type )に接続するコネクタです。
- ② 状態表示 LED  
RC45 の状態をランプで表示します。
- ③ ケーブル接続コネクタ(コネクタカバー付き)  
携帯電話接続ケーブルまたは、PHS 接続ケーブルをつなぐコネクタです。ケーブルを接続するときはコネクタカバーをめくってケーブルを差します。



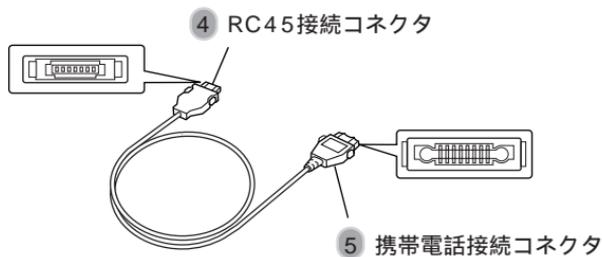
本装置プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるので、構造上および機能上は問題ありません。

## 状態表示 LED について

状態表示LEDの状態	通信状態
赤色ではやく点滅 (0.2秒おきに点灯/消灯)	発信中
	着信中
	通信中で電波状態が悪いとき
赤色でゆっくりと点滅 (1秒おきに点灯/消灯)	電波状態が悪いとき *
赤色で点灯	通信中
	切断したとき
	待機中(圏内のとき) *
消灯	圏外するとき
	パソコンまたはモバイルギア から RC45に電源が供給されていないとき

\* OSによっては通信ソフトを起動しないと点灯しません。

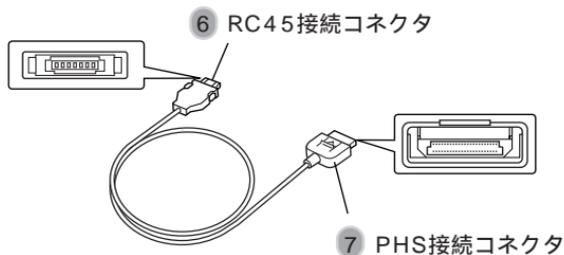
## 携帯電話接続ケーブル



- 4 RC45 接続コネクタ  
RC45 本体のケーブル接続コネクタに差します。
- 5 携帯電話接続コネクタ  
携帯電話のケーブル接続コネクタに差します。

ドッチーモを接続する場合は、こちらのケーブルを使用します。

## PHS 接続ケーブル



- 6 RC45 接続コネクタ  
RC45 本体のケーブル接続コネクタに差します。
- 7 PHS 接続コネクタ  
PHS のケーブル接続コネクタに差します。

## 2. RC45 を使用するまでの流れ

パソコン、モバイルギア にRC45を取り付ける方法と、インターネットに接続するまでの流れを説明します。

RC45 のつなぎかた



インターネットに接続するまでの流れ

ご使用の前に

RC45を使用する  
までの流れ

Windows98/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付  
録

Windows® 2000 は Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。  
Windows® 98 は Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。  
Windows® 95 は Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。  
Windows® CE は Microsoft® Windows® CE operating system の略です。

## 2-1. RC45 のつなぎかた

### RC45 の取り付けかた

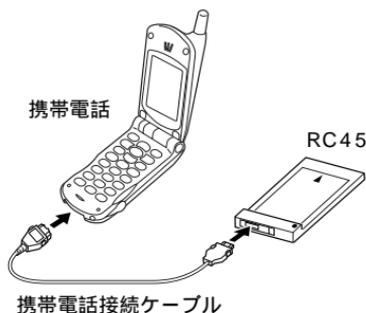
RC45 は、PCMCIA 2.1/ JEIDA V4.2 以降に対応した PCMCIA Type スロットを搭載している Windows® 2000/ Windows® 98/ Windows® 95 のパソコン、および Windows® CE のモバイルギア に接続できます。お使いの機器によって接続の手順が異なります。

### 携帯電話または PHS と接続する

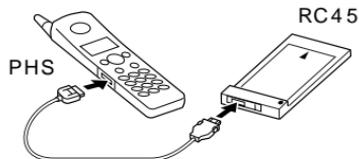
RC45 に携帯電話または PHS をつないで利用する場合は、最初に接続します。ワイヤレスシリーズ親機を經由してインターネットに接続するときは、この手順は必要ありません。

- 1 携帯電話または PHS と RC45 を添付の接続ケーブルで接続します。RC45 を携帯電話またはドッチーモに接続する場合は「携帯電話接続ケーブル」を使用します。PHS に接続する場合は「PHS 接続ケーブル」を使用します。

携帯電話



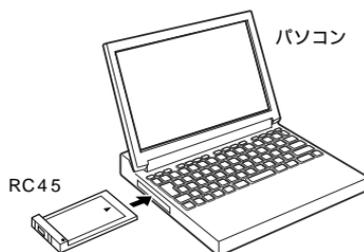
PHS



PHS接続ケーブル

## パソコンに取り付ける

- 1 パソコンを起動します。
- 2 パソコンのPCカードスロットにRC45を取り付けます。  
RC45に書かれている の方向に、奥までしっかりと差し込んでください。



モデム情報ファイルがインストールされていない場合は、インストールをおこなうための画面が表示されます。

モデム情報ファイルをインストールする手順は、「3.Windows98/Windows95をお使いの方は」( P.38)、「4.Windows2000をお使いの方は」( P.74)で説明します。

モデム情報ファイルがすでにインストールされている場合は、タスクトレイにPCカードアイコンが表示されます。



お願い

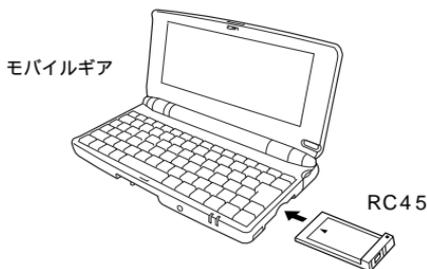
RC45の設定をするときは、RC45をパソコンに取り付けた状態で設定をおこなってください。

携帯電話またはPHSを接続して使用するときは、RC45と携帯電話またはPHSを接続した状態でパソコンに取り付けてください。RC45を先にパソコンに取り付けた状態で携帯電話またはPHSを接続すると、正しく認識されないことがあります。

PCカードスロットの取り扱いについては、お使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。

## モバイルギア に取り付ける

- 1 モバイルギア の電源が入っているときは、いったん電源を切ります。
- 2 モバイルギア のPCカードスロットにRC45を取り付けます。RC45に書かれている の方向に、奥までしっかりと差し込んでください。



- 3 モバイルギア の電源を入れます。  
このあとの設定については「5 . WindowsCEをお使いの方は」(P.90)で説明します。



モバイルギア にACアダプタを接続してお使いになることをおすすめします。

RC45の設定をするときは、RC45をモバイルギア に取り付けた状態で設定をおこなってください。

携帯電話またはPHSを接続して使用するときは、RC45と携帯電話またはPHSを接続した状態でモバイルギア に取り付けてください。RC45を先にモバイルギア に取り付けた状態で携帯電話またはPHSを接続すると、正しく認識されないことがあります。

PCカードスロットの取り扱いについては、お使いのモバイルギアの取扱説明書を参照してください。

## RC45 の取り外しかた

RC45をパソコンまたはモバイルギア から取り外すときの手順を説明します。お使いの環境によって手順が異なります。

### Windows 98/Windows 95 の場合

- ① タスクトレイのPCカードアイコンをクリックし、[ AtermRC45 の中止 ] を選択します。



「このデバイスは安全に取りはずせます。」と表示されます。

「このデバイスは取りはずせません」と表示された場合は、RC45を使用しているアプリケーションソフトが起動中です。アプリケーションソフトを終了してからもう一度①の操作をおこなってください。

- ② **OK** ボタンをクリックします。



- ③ RC45の状態表示LEDが消えたことを確認し、パソコンのPCカードスロットの取り出しボタンを押してRC45を取り出します。

## Windows 2000 の場合

- ① タスクトレイの PC カードアイコンをクリックし、[ AtermRC45 を停止します ] を選択します。



[ AtermRC45 は安全に取り外すことができます ] と表示されます。

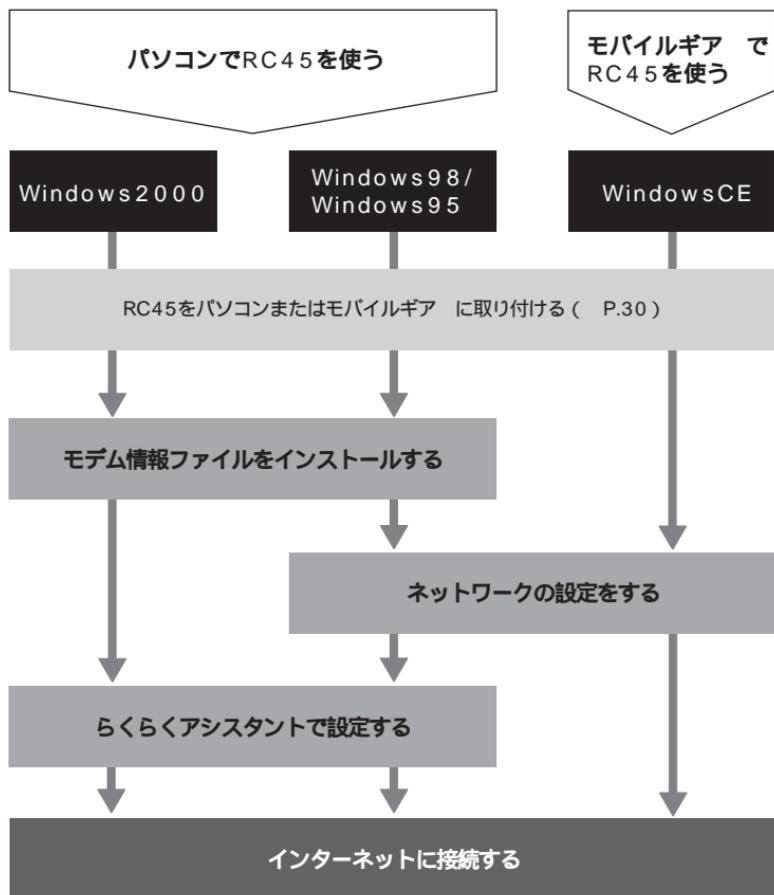
- ② RC45 の状態表示 LED が消えたことを確認し、パソコンの PC カードスロットの取り出しボタンを押して RC45 を取り出します。

## Windows CE の場合

- ① モバイルギア の電源が入っているときは、いったん電源を切ります。
- ② モバイルギア の PC カードスロットの取り出しボタンを押して RC45 を取り出します。

## 2-2. インターネットに接続するまでの流れ

RC45を利用してインターネットに接続するまでの流れは次のとおりです。



Windows98/Windows95をお使いの方は3章( P.37 )に進みます。

Windows2000をお使いの方は4章( P.73 )に進みます。

WindowsCEをお使いの方は、5章( P.89 )に進みます。



### 3. Windows 98/Windows 95 をお使いの方は

Windows 98/Windows 95 を搭載したパソコンとRC45を使ってインターネットに接続する手順を説明します。

モデム情報ファイルをインストールする

ネットワークの設定をする

らくらくアシスタントで設定する

インターネットに接続する

ご使用の前に

RC45を使用する  
までの流れ

Windows 98/Windows 95  
をお使いの方は

Windows 2000  
をお使いの方は

Windows CE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

Windows® 2000 は Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。  
Windows® 98 は Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。  
Windows® 95 は Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。

## 3-1. モデム情報ファイルをインストールする

モデム情報ファイルをパソコンにインストールし、RC45を「使用するモデム」として設定します。添付のフロッピーディスク『モデム情報ファイル』、またはCD-ROM『AtermIWX70&RC45ユーティリティ集』を用意してください。

### Windows 98 をお使いの方は

Windows 95をお使いの場合は、「Windows 95をお使いの方は」( P.41)を参照してください。

- 1 「2-1. RC45のつなぎかた」( P.30)を参照し、RC45をパソコンに取り付けます。

「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されたあと、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。

- 2 **次へ** ボタンをクリックします。



「検索方法を選択してください。」と表示されます。

- 3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



- ④ 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMをパソコンにセットします。  
CD-ROM をセットしたあとに『セットアップガイド』のメニュー画面が表示されたときは、[ CD-ROM の終了 ] をクリックして『セットアップガイド』を終了させます。
- ⑤ 「フロッピーディスクドライブ」または「CD-ROMドライブ」をクリックして  にします。



モデム情報ファイルを検索するドライブ ( ④ でセットしたドライブ ) を選択します。

- ⑥ **次へ** ボタンをクリックします。  
「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。

- ⑦ 画面に「AtermRC45」と表示されていることを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



「AtermRC45」と表示されない場合は ⑤ でモデム情報ファイルを検索するドライブを正しく指定したかを確認してください。

「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。

⑧ **完了** ボタンをクリックします。



モデム情報ファイルのインストールが終了します。

「3-2. ネットワークの設定をする」( P.44 )に進みます。

- ① 「2-1. RC45 のつなぎかた」( P.30 )を参照し、RC45をパソコンに取り付けます。  
「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。
- ② このあとの手順はWindows95のバージョンによって異なります。次のどちらかを実行します。  
[ デバイスドライバウィザード ] 画面が表示された場合  
[ 新しいハードウェア ] 画面が表示された場合 ( P.42 )

### [ デバイスドライバウィザード ] 画面が表示された場合

- ① 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMをパソコンにセットします。  
CD-ROMをセットしたあとに『セットアップガイド』のメニュー画面が表示されたときは、[ CD-ROM の終了 ] をクリックして『セットアップガイド』を終了させます。
- ② **次へ** ボタンをクリックします。



「AtermRC45」のドライバが検出されます。

- ③ **完了** ボタンをクリックします。

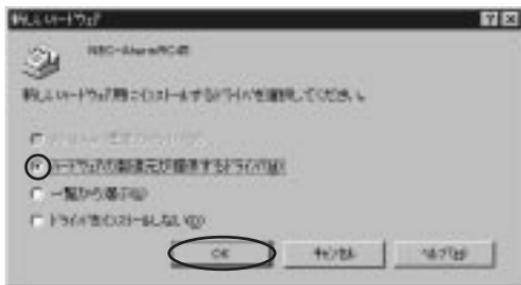


モデム情報ファイルのインストールが終了します。

「3-2. ネットワークの設定をする」( P.44 )に進みます。

## [新しいハードウェア] 画面が表示された場合

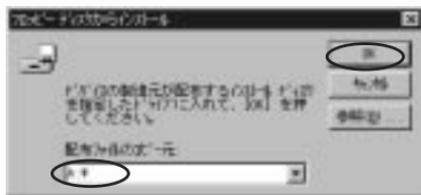
- ① 「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択して **OK** ボタンをクリックします。



[フロッピーディスクからのインストール] 画面が表示されます。

- ② 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMをパソコンにセットします。  
CD-ROMをセットしたあとに『セットアップガイド』のメニュー画面が表示されたときは、[CD-ROMの終了]をクリックして『セットアップガイド』を終了させます。

- ③ 「配布ファイルのコピー元」にフロッピーディスクまたはCD-ROMをセットしたドライブを指定して **OK** ボタンをクリックします。



モデム情報ファイルのインストールが終了します。

「3-2. ネットワークの設定をする」( P.44 )に進みます。

## 3-2. ネットワークの設定をする

インターネットにダイヤルアップ接続をするための設定をします。

### ダイヤルアップネットワークの確認

「ダイヤルアップネットワーク」がパソコンにインストールされているか確認します。ダイヤルアップネットワークがすでにインストールされている場合は、「ネットワークプロトコルの設定」( P.47 )に進みます。

- 1 「2-1. RC45のつなぎかた」( P.30 )を参照し、RC45をパソコンに取り付けます。
- 2 デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。



マイコンピュータ

[マイコンピュータ]アイコンは図と異なることがあります。

[マイコンピュータ]ウィンドウが表示されます。

- 3 [ダイヤルアップネットワーク]アイコンがあることを確認します。



ダイヤルアップ  
ネットワーク

[ダイヤルアップネットワーク]アイコンがある場合は、「ネットワークプロトコルの設定」( P.47 )に進みます。

## 「ダイヤルアップネットワーク」アイコンがない場合

ダイヤルアップネットワークをパソコンに組み込みます。

Windows98 を例に説明します。お使いの環境によっては画面が異なることがあります。

- ① Windows98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

Windows98 が最初からインストールされているパソコンのほとんどは、ハードディスクに CD-ROM の内容がコピーされています。この場合は CD-ROM をセットする必要はありません。

- ②  [設定] [コントロールパネル] を選択します。

- ③ [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。



[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面が表示されます。

- ④ [Windows ファイル] タブをクリックします。

- ⑤ 「ファイルの種類」の中の「通信」が  になっている状態で「通信」を選択し、 ボタンをクリックします。



[通信] 画面が表示されます。

- ⑥ 「ダイヤルアップネットワーク」をクリックして  にし、**OK** ボタンをクリックします。



[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面にもどります。

- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。



インストールが完了し、[コントロールパネル] ウィンドウにもどります。

- ⑧ パソコンを再起動します。

## ネットワークプロトコルの設定

インターネットにダイヤルアップ接続するには、次の3つのネットワークコンポーネントが必要です。

Microsoft ネットワーククライアント  
ダイヤルアップアダプタ  
TCP/IP

パソコンにこれらが組み込まれているか確認し、足りないものがある場合は追加します。

①  [設定] [コントロールパネル] を選択します。

② [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

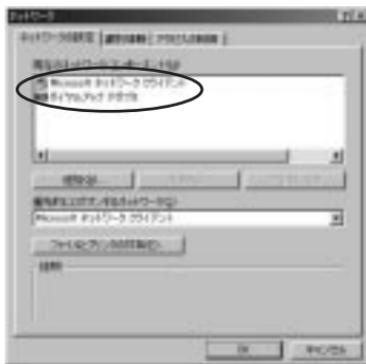


ネットワーク

[ネットワーク] アイコンは図と異なる場合があります。

[ネットワーク] 画面が表示されます。

- ③ 「現在のネットワークコンポーネント」に Microsoft ネットワーククライアント、ダイヤルアップアダプタ、TCP/IPがあるか確認します。



例 この図の場合は「TCP/IP」が不足しています。

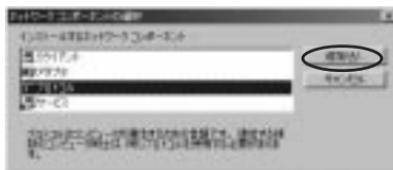
3つのコンポーネントがすでに組み込まれている場合は、ネットワークプロトコルの設定は必要ありません。「3-3. らくらくアシスタントで設定する」( P.51 )に進みます。  
いずれかが不足している場合は、④に進みます。

- ④ **追加** ボタンをクリックします。

[ ネットワークコンポーネントの選択 ] 画面が表示されます。

- ⑤ ③で不足していたものによってそれぞれ以下のコンポーネントを選択し、**追加** ボタンをクリックします。

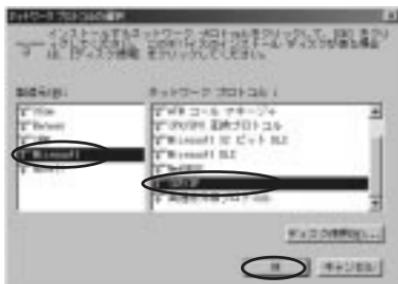
Microsoft ネットワーククライアントを追加する場合 ..... クライアント  
ダイヤルアップアダプタを追加する場合 ..... アダプタ  
TCP/IP を追加する場合 ..... プロトコル



これ以降の手順は、TCP/IP の追加を例に説明します。

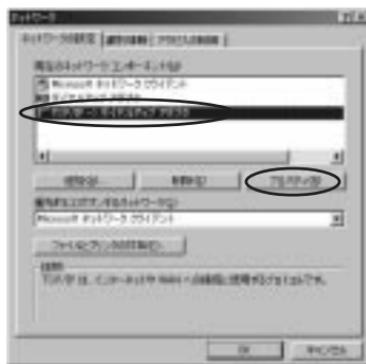
[ ネットワークプロトコルの選択 ] 画面が表示されます。

- ⑥ 「製造元」の中から「Microsoft」を選択して「ネットワークプロトコル」の中の「TCP/IP」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



[ネットワーク] 画面にもどります。

- ⑦ 「TCP/IP」を選択し、**プロパティ** ボタンをクリックします。



[TCP/IPのプロパティ] 画面が表示されます。

- ⑧ [詳細設定] タブをクリックします。

- 9 「既定のプロトコルとして設定する」がグレーで表示されていたら、そのままにします。はっきりと表示されている場合は  になっていることを確認し、**OK** ボタンをクリックします。



[ ネットワーク ] 画面にもどります。

- 10 **OK** ボタンをクリックします。



「再起動しますか」と表示されます。

- 11 **はい** ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。

「3-3. らくらくアシスタントで設定する」( P.51 )に進みます。

## 3-3. らくらくアシスタントで設定する

### らくらくアシスタントとは

添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RC45 ユーティリティ集』に収録されている『らくらくアシスタント』を使うと、インターネットに接続するための下記の設定が画面に表示される案内にそって簡単にできます。

ワイヤレスシリーズ親機経由で接続するか、携帯電話またはPHSで接続するかの選択

ワイヤレスシリーズ親機を経由する場合の親機の機種種の選択

プロバイダの設定

ワイヤレスシリーズ親機とRC45の無線区間の通信速度と、アクセスポイントへの通信速度の設定

ワイヤレスシリーズ親機(AtermIWX70)を経由するときの親機のモード指定通信の設定

ワイヤレスシリーズ親機にAtermIWX70をお使いの場合は『IWX70&RC45 らくらくアシスタント』を使用します。親機がAtermWM56またはAtermIW50/Dの場合は『AtermRC45 ユーティリティ』を使用します。またインターネット接続の設定のほかに、ユーティリティファイルのバージョンなどを表示する「ユーティリティのファイル情報」の機能があります。



『IWX70&RC45 らくらくアシスタント』は別売のワイヤレスシリーズ親機「AtermIWX70」とRC45の両方の設定ができます。IWX70をお持ちの場合は、RC45を接続したパソコンを使って無線でIWX70の設定をすることができます。



IWX70などのワイヤレスシリーズ親機の機能や設定のしかたなどは、親機に添付の取扱説明書を参照してください。らくらくアシスタントを使わないで設定する場合は、添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」の「2. 手動セットアップ」を参照し、手動で設定してください。

ご使用の前に

RC45を使用する  
までの流れ

Windows98/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

## らくらくアシスタントのインストール

『らくらくアシスタント』をパソコンのハードディスクにインストールします。ワイヤレスシリーズ親機に AtermIWX70 をお使いの場合は『IWX70 & RC45 らくらくアシスタント』をインストールします。親機が Aterm WM56 または AtermIW50/D の場合は『AtermRC45 ユーティリティ』をインストールします。

[セットアップガイド]のメニューの1～5をご覧になって、その中でインストールすることもできます。

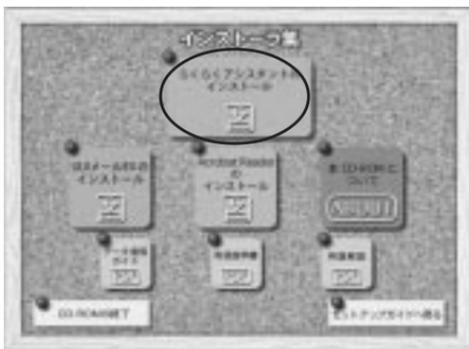
Windows2000 の場合の手順も同様です。

- 1 パソコンを起動します。  
ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。
- 2 添付CD-ROM『AtermIWX70&RC45 ユーティリティ集』をパソコンにセットします。  
[セットアップガイド]のメニュー画面が表示されます。  
すでにCD-ROMがセットされていた場合は、いったんCD-ROMを取り出してから再度セットしてください。  
CD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されないときは「メニュー画面が表示されないとき」( P.54 )を参照してください。
- 3 [セットアップガイドを見ないでインストール]をクリックします。



[インストーラ集]画面が表示されます。

- ④ [らくらくアシスタントのインストール] をクリックします。

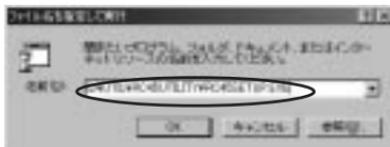


- ⑤ 画面に表示される内容にしたがって操作を進めます。  
『IWX70&RC45 らくらくアシスタント』がインストールされます。

## AtermRC45 ユーティリティのインストール

- ① **実行** [ファイル名を指定して実行] を選択します。  
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

- ② 「名前」に半角文字で次のように入力します。  
Q:¥UTIL¥RC45UTILITY¥RC45SETUP.EXE  
(QはCD-ROMドライブ名)



- ③ **OK** ボタンをクリックします。  
メニュー画面が表示されます。
- ④ 画面に表示される内容にしたがって操作を進めます。  
『AtermRC45 ユーティリティ』がインストールされます。

## メニュー画面が表示されないとき

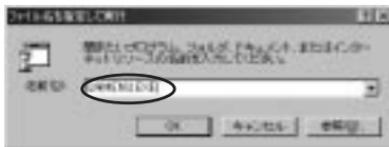
添付CD-ROM『AtermIWX70&RC45 ユーティリティ集』はパソコンにセットすると、自動的にメニュー画面が表示されるようになっています。パソコンにCD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されないときは、ファイル名を指定してメニュー画面を表示します。

- ① **実行** [ファイル名を指定して実行] を選択します。  
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

- ② 「名前」に半角文字で次のように入力します。

Q:¥MENU.EXE

(QはCD-ROMドライブ名)



- ③ **OK** ボタンをクリックします。  
メニュー画面が表示されます。



CD-ROMのドライブ名はパソコンによって異なります。ドライブ名がわからないときは、次の操作でCD-ROMドライブを確認します。

- ① [ファイル名を指定して実行]画面で **参照** ボタンをクリックします。  
[ファイルの参照]画面が表示されます。

- ② 「ファイルの場所」の  をクリックし、CD-ROMドライブを選択します。



- ③ ドライブ名を確認したら **キャンセル** ボタンをクリックします。

## らくらくアシスタントをアンインストールする

らくらくアシスタントが不要になった場合は、ハードディスクから削除します。

- ① **スタート** [プログラム] [AtermIWX70 & RC45 ユーティリティ] [ユーティリティのアンインストール]を選択します。  
[ユーティリティアンインストーラ]が起動し、確認画面が表示されます。

- ② **はい** ボタンをクリックします。



アンインストールが実行されます。

- ③ **OK** ボタンをクリックします。



インストールしてあった『らくらくアシスタント』『らくらくバージョンアップ』『詳細設定ヘルプ』『ユーティリティのアンインストール』が、パソコンのハードディスクから削除されます。

## らくらくアシスタントの起動のしかた

ワイヤレスシリーズ親機にAtermIWX70をお使いの場合は『IWX70&RC45らくらくアシスタント』を使用します。親機がAtermWM56またはAtermIW50/Dの場合は『AtermRC45ユーティリティ』を使用します。ここでは『IWX70&RC45らくらくアシスタント』の起動のしかたを説明します。『AtermRC45ユーティリティ』の手順も同様です。

Windows2000の場合の手順も同様です。

- 1 「2-1. RC45のつなぎかた」( P.30 )を参照し、RC45をパソコンに取り付けます。
- 2 ほかのアプリケーションソフトを使用しているときは、そのアプリケーションを終了します。
- 3 **スタート** [プログラム] [AtermIWX70&RC45ユーティリティ] [IWX70&RC45らくらくアシスタント]を選択します。  
『らくらくアシスタント』がRC45とIWX70の接続されているCOMポートを検索します。  
[IWX70&RC45らくらくアシスタントによろこそ]画面に、らくらくアシスタントの機能の説明が表示されます。
- 4 内容を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



[らくらくアシスタントメニュー]が表示され、画面左下にRC45とIWX70の接続状況が表示されます。

「次回以降はこの画面を表示しない」をクリックして  にすると、次回起動したときからこの画面は表示されません。

- 5 [らくらくアシスタントメニュー] から設定する項目をクリックして選択し、設定をおこないます。



RC45が「見つかりません」と表示されたときは、『らくらくアシスタント』がRC45を認識していません。RC45がPCカードスロットに正しく取り付けられているか、RC45用のモデム情報ファイルがインストールされているか確認してください。(「3-1. モデム情報ファイルをインストールする」 P.38、Windows2000の場合「4-1. モデム情報ファイルをインストールする」 P.74) それでもRC45が認識されない場合は、「7-2 ハイパーターミナルを使う」(P.119)を参照し、ATコマンドを使って接続の確認をしてください。各項目の設定が終わると[らくらくアシスタントメニュー]にもどります。設定が終了したときなど、らくらくアシスタントを終了するときは **アシスタント終了** ボタンをクリックします。「IWX70&RC45らくらくアシスタントの実行を終了します。」と表示されるので、 **はい** ボタンをクリックします。それぞれの設定についてはP.59以降で説明します。



RC45を接続したパソコンからAtermIW70の設定をする場合は、IW70の電源をONにしておいてください。RC45から無線でIW70の設定ができません。

『IW70&RC45らくらくアシスタント』の中でRC45が使用できるのは、次の2つです。

インターネット接続の設定（ P.59 ）

ユーティリティのファイル情報

これ以外はIW70独自の機能なので、IW70をお持ちでない場合は使用できません。

## らくらくアシスタントで設定する

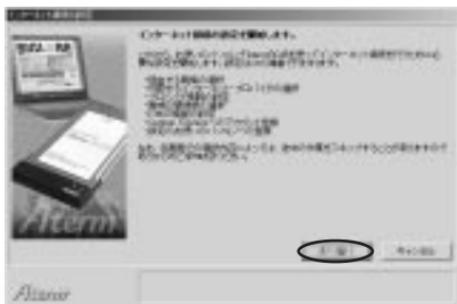
『らくらくアシスタント』を使ってインターネット接続の設定をします。ワイヤレスシリーズ親機が AtermIW70 の場合は『IW70&RC45 らくらくアシスタント』を使用し、親機が AtermWM56 または AtermIW50/D の場合は『AtermRC45 ユーティリティ』を使用します。ここでは『IW70&RC45 らくらくアシスタント』での設定方法を説明します。『AtermRC45 ユーティリティ』の手順も同様です。

Windows 2000 の場合の手順も同様です。

- 1 「らくらくアシスタントの起動のしかた」( P.57 ) の ⑤ の [ らくらくアシスタントメニュー ] で [ インターネット接続の設定 ] を選択します。

[ インターネット接続の設定 ] の画面が表示されます。

- 2  ボタンをクリックします。

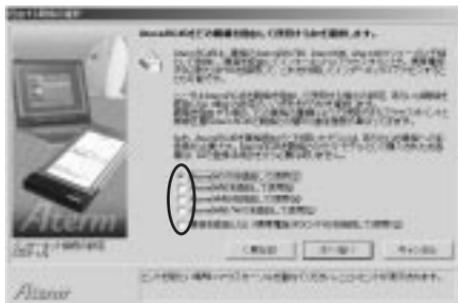


[ 経由する親機を選択 ] 画面が表示されます。

- ③ インターネット接続のときに、親機経由で使用するか携帯電話 / PHS を接続するかを選択します。

親機経由で使用する場合は、RC45を増設登録しているワイヤレスシリーズ親機を選択します。

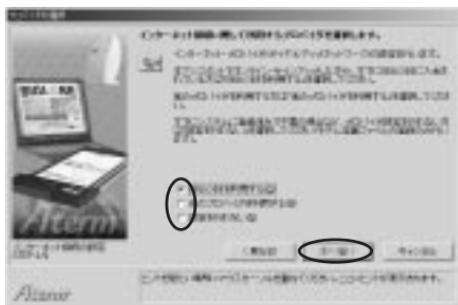
携帯電話またはPHSから接続する場合は、「親機を経由しない(携帯電話(PDC) / PHSを接続して使用)」を選択します。



- ④ 次へ ボタンをクリックします。

[プロバイダの選択]画面が表示されます。

- ⑤ BIGLOBEを利用する場合は「BIGLOBEを利用する」を選択し、その他のプロバイダを利用する場合は「他のプロバイダを利用する」を選択して 次へ ボタンをクリックします。



すでにパソコンでインターネットを利用していた場合など、インターネットに接続するための設定が終わっている場合は、「Outlook Expressへのアカウント登録」だけをおこないます。ここで「設定を行わない」を選択して 次へ ボタンをクリックし、⑩( P.63 )に進みます。

[アクセスポイント情報の設定]画面が表示されます。

- ⑥ プロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料にしたがって、アクセスポイントとDNSを設定します。



「接続速度・方式」は③で選択した機器によって、次のように表示されます。

#### 親機を経由する場合

経由する親機	接続速度・方式	通信速度	アクセスポイントの種類	備考
IWX70 IW50/D WX1 IW60 IW60HS DSU	同期64kbps	64kbps	ISDN同期64K対応アクセスポイント	
	PIAFS	32kbps 64kbps	PIAFS対応アクセスポイント	WX1、IW60、IW60HS DSUは32kbpsのみ
WM56	アナログ56kbps	56kbps	非同期56K対応アクセスポイント	

#### 携帯電話 / PHS を接続する場合

接続する機器	接続速度・方式	通信速度	アクセスポイントの種類
携帯電話	アナログ56kbps	9.6kbps	非同期56K対応アクセスポイント
	PDC用クイックナンバー	9.6kbps	携帯電話用
PHS	PIAFS	32kbps 64kbps	PIAFS対応アクセスポイント

BIGLOBEを利用する場合は最寄りのアクセスポイントの設定情報が表示されます。アクセスポイントを変更する場合は「最寄りのAP」の▼ボタンをクリックし、接続するアクセスポイントを選択すると電話番号やDNSが表示されます。

「接続先名」にプロバイダの名称を入力します。ここで入力した名前で作成されるので、任意の名前を入力します。

「電話番号」は半角数字で市外局番から入力します。入力できるのは数字・英字・ハイフンだけです。

「ログインID」「ログインパスワード」は利用者を識別するためのものです。必ず入力します。

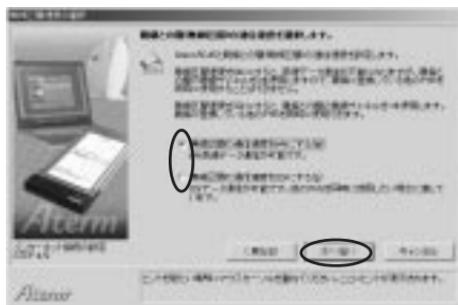
DNS ( Domain Name System ) はインターネットに接続するためのサーバのアドレスを取得するためのもので、1～3桁の4つの数字をピリオド ( . ) で区切って半角で指定します。「セカンダリDNS」はプロバイダから指示がなければ、入力しなくても問題ありません。

**7** **次へ** ボタンをクリックします。

携帯電話またはPHS経由でインターネットに接続する場合は **10** に進みます。

[ 無線区間速度の選択 ] 画面が表示されます。

**8** RC45 とワイヤレスシリーズ親機との無線区間の通信速度を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。

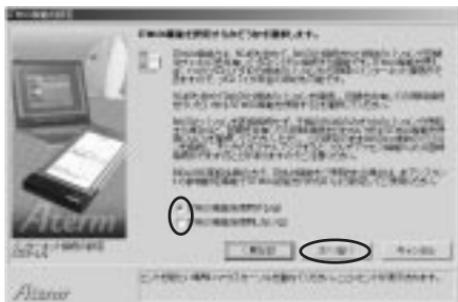


経由するワイヤレスシリーズ親機がWX1またはIW60、IW60HS DSUの場合、無線区間の通信速度は32Kのみです。

経由する親機がIWX70の場合は **9** に進みます。IWX70以外の親機の場合は、**10** に進みます。

[ ITMUX 機能の設定 ] 画面が表示されます。

- 9 ITMUX機能を使用するかどうかを選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



ITMUXを利用すると、1つのプロバイダとの契約(ID)で2台のパソコンから同時に同じアクセスポイントに接続することができます。INS ネット 64 の1回線あたり2つあるBチャンネルのうち、1つのBチャンネルを使用して2台同時に接続するので通信料金が節約できます。RC45に接続したパソコン以外に、IWX70にもパソコンを接続してインターネットを利用したい場合などは「ITMUX機能を使用する」を選択します。

[ Outlook Express へのアカウント登録の選択 ] 画面が表示されます。

- 10 Outlook Express にアカウントを登録するかどうかを選択します。電子メールの送受信をおこなうときに『Outlook Express』を使用する場合は、Outlook Express にユーザIDなどを登録します。



Outlook Expressにアカウントを登録しない場合は、**13**( P.64 )に進みます。

- 11 **次へ** ボタンをクリックします。

[ Outlook Express の設定 ] 画面が表示されます。

- 12 メールアカウントとニュースアカウントを設定します。



「アカウントの表示名」にはメールの送受信のときに表示される名前を任意に入力します。

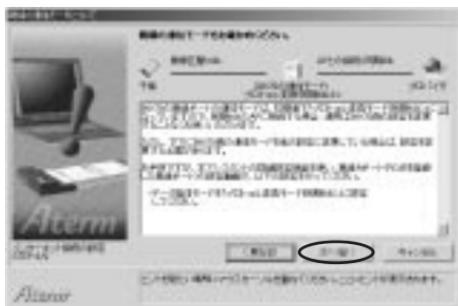
「ニュースアカウント」はインターネット上の掲示板である「ネット・ニュース」を利用するためのアカウントで、サーバにアクセスして記事を読んだり投稿することができます。利用しない場合は、入力する必要はありません。

- 13 次へ ボタンをクリックします。

携帯電話または PHS 経由で接続する場合は 15 に進みます。

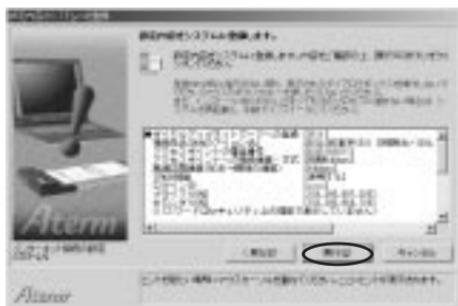
[ 親機の通信モードについて ] 画面が表示されます。

- 14 RC45 と親機との無線区間の通信モードを確認し、次へ ボタンをクリックします。



[ 設定内容のシステムへの登録 ] 画面が表示されます。

- 15 登録する内容を確認し、**実行** ボタンをクリックします。



システム登録の実行中は、さまざまな設定の登録が自動的におこなわれます。特に指示がない限り、キーボードやマウスを操作しないでください。  
[インターネット接続の設定終了]画面が表示されます。

- 16 **設定終了** ボタンをクリックします。



インターネットの接続の設定が終了し、[らくらくアシスタントメニュー]にもどります。

親機との電波状況の確認などをおこなうユーティリティ『RC45センター』をインストールする場合は、ここで**RC45センターのインストール**ボタンをクリックします。(「RC45センターを利用する」 P.71)

- 17 **アシスタント終了** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。  
らくらくアシスタントが終了します。

- 18 CD-ROMドライブのアクセスランプが消えたのを確認し、CD-ROMを取り出します。

「3-4. インターネットに接続する」( P.66 )に進みます。  
Windows2000をお使いの方は「4-3 .インターネットに接続する」( P.83 )に進みます。

## 3-4. インターネットに接続する

### 接続を確認する

プロバイダにダイヤルし、正しく接続できるか確認します。

- ① インターネットに接続するワイヤレスシリーズ親機または携帯電話、PHSを通信できるように準備します。
- ② 「2-1. RC45のつなぎかた」( P.30 )を参照し、RC45をパソコンに取り付けます。
- ③ デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。



マイコンピュータ

[マイコンピュータ]アイコンは図と異なることがあります。

[マイコンピュータ]ウィンドウが表示されます。

- ④ [ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



ダイヤルアップ  
ネットワーク

[ダイヤルアップネットワーク]ウィンドウが表示されます。

- ⑤ 接続アイコン (例: BIGLOBE64) をダブルクリックします。



BIGLOBE64

接続アイコンは経由する親機や接続した携帯電話、PHSによって異なります。

[接続]画面が表示されます。

- 6 プロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料にしたがって、「ユーザー名」(ユーザID)と「パスワード」を入力します。



「パスワードの保存」をクリックして  にすると、次回の接続からパスワードを入力する必要がなくなります。

- 7 **接続** ボタンをクリックします。



ワイヤレスシリーズ親機または携帯電話、PHS がプロバイダにダイヤルし、つながるとユーザー名とパスワードの認証がおこなわれます。確認できるとプロバイダのホストコンピュータに接続され、タスクトレイに [ダイヤルアップネットワークモニタ] アイコンが表示されます。



- 8 [ダイヤルアップネットワークモニタ] アイコンをダブルクリックし、**切断** ボタンをクリックします。



回線への接続が切断されます。



通信相手に接続できなかった場合にRC45とワイヤレスシリーズ親機が同一番号に再発信する回数は、最初の発信から数えて3分間で2回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間をおいてから接続し直してください。  
接続できないときは「6-1. 困ったときのQ & A」( P.103 )を参照してください。



アクセスポイントに接続したあとに認証の失敗などで接続できなかったときも、通信料金がかかります。  
接続先の「電話番号」の末尾に文字を付加して接続方法を指定して発信することもできます。詳細は添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」の「2. 手動セットアップ」を参照してください。

## ホームページを見る

プロバイダに接続してインターネットのホームページを見るときは「ブラウザソフト」を使用します。ブラウザソフトの設定や使い方については、ブラウザソフトの「ヘルプ」などを参照してください。

- ① 「接続を確認する」( P.66 ) の ① ~ ② を参照し、回線を接続します。  
ワイヤレスシリーズ親機または携帯電話、PHSからプロバイダにダイヤルし、インターネットに接続します。
- ② Internet ExplorerやNetscape Navigatorなどのブラウザソフトを起動します。
- ③ 「アドレス」に見たいホームページのアドレスを入力し、 キーを押します。  
例：Aterm ホームページ <http://aterm.cplaza.ne.jp/>



画面はInternet Explorer Ver. 5.0 を使用したときの例です。  
AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年6月現在のものです。

- ④ [ファイル] [終了] を選択し、ブラウザソフトを終了します。
- ⑤ タスクトレイの [ダイヤルアップネットワークモナ] アイコンをダブルクリックし、 ボタンをクリックします。  
回線への接続が切断されます。



お願い

インターネットの接続を終了するときには、ブラウザソフトを終了させただけでは回線は切断されません。必ず [ダイヤルアップネットワークモナ] で切断操作をしてください。

ご使用の前に

PC4.5を使用する  
までの流れ

Windows98/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

## Windows 98 でブラウザソフトのアイコンがないとき

Windows 98 をご使用の方でデスクトップにブラウザソフト (Internet Explorer) のアイコンがないときは、以下の手順で [Internet Explorer] アイコンを作成します。

- ① デスクトップの [インターネットに接続] アイコンをダブルクリックします。



[インターネット接続ウィザード] 画面になります。

- ② 「既にインターネット接続の設定が...表示しない」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



- ③ [インターネット接続ウィザード] を終了します。

デスクトップに [Internet Explorer] と [Outlook Express] のアイコンが表示されます。



## RC45 センターを利用する

添付CD-ROM『AtermIWX70&RC45ユーティリティ集』に収録されている『RC45センター』を使用すると次の機能が利用できます。

### 電波状況の確認

RC45とワイヤレスシリーズ親機とのあいだの電波状況を調査し、通信可能な状態かどうかを表示します。

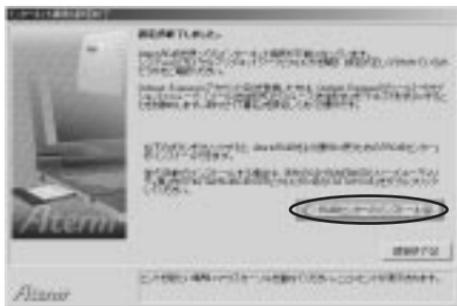
### 接続

ワイヤレスシリーズ親機と接続したときの設定と、携帯電話やPHSと接続したときの設定など、インターネット接続の設定を複数登録している場合に、接続先をメニューから選択して接続することができます。

### システム番号切り替え

RC45を複数のワイヤレスシリーズ親機に増設登録している場合に、接続する親機を選択します。(「7-1. 接続する親機を選択」 P.118)

『RC45センター』は「らくらくアシスタントで設定する」の⑬( P.65 )でインストールできます。



インストールすると、タスクトレイのインジケータに常時表示されます。

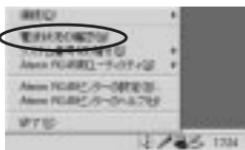


ここでは「電波状況の確認」について説明します。

## 電波状況の確認

Windows2000 の場合の手順も同様です。

- 1 タスクトレイのインジケータの『RC45 センター』アイコンを右クリックし、[ 電波状況の確認 ] をクリックします。



[ 電波状況 ] 画面が表示されます。

- 2 電波状況を確認します。  
電波状況が悪いときは親機に近づけてから **再調査** ボタンをクリックし、電波状況を再度確認してください。



- 3 **閉じる** ボタンを押します。  
『RC45 センター』が終了します。



『RC45 センター』を実行中は、他の通信ソフトを使用しないでください。  
RC45 でインターネットに接続する前に、『RC45 センター』を使用して安定した無線電波状況であるかを確認してから接続を実行してください。なお電波状況は変動するので何回か電波状況を調査し、安定した状態であることを確認してからインターネットに接続してください。

## 4. Windows 2000 をお使いの方は

Windows 2000 を搭載したパソコンと RC45 を使ってインターネットに接続する手順を説明します。

モデム情報ファイルをインストールする

らくらくアシスタントで設定する

インターネットに接続する

ご使用の前に

RC45 を使用する  
までの流れ

Windows 98/Windows 95  
をお使いの方は

Windows 2000  
をお使いの方は

Windows CE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

Windows® 2000 は Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。  
Windows® 98 は Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。  
Windows® 95 は Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。

## 4-1. モデム情報ファイルをインストールする

モデム情報ファイルをパソコンにインストールし、RC45を「使用するモデム」として設定します。添付のフロッピーディスク『モデム情報ファイル』、またはCD-ROM『AtermIW70&RC45 ユーティリティ集』を用意してください。

モデム情報ファイルをインストールするときには、Administratorの権限が必要です。コントロールパネルの[ユーザーとパスワード]の設定を変更している場合は、「6-1. 困ったときのQ&A」( P.105 )を参照してください。

### モデム情報ファイルのインストール

- ① 「2-1. RC45のつなぎかた」( P.30 )を参照し、RC45をパソコンに取り付けます。

「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されたあと、「標準PCMCIAカードモデム」としてインストールされます。

- ② **スタート** [設定] [コントロールパネル] を選択します。  
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。

- ③ [システム] アイコンをダブルクリックします。



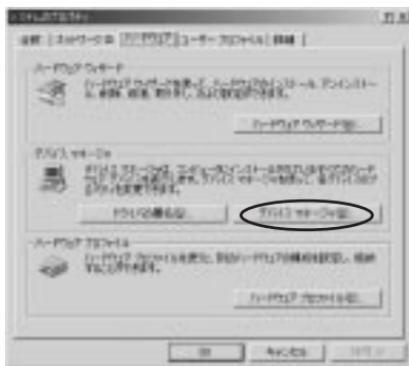
システム

[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

- ④ [ハードウェア] タブをクリックします。



- 5 [デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

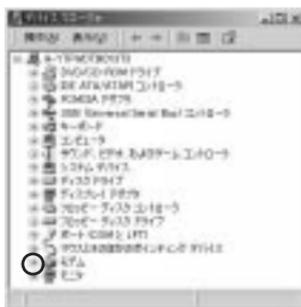


このとき次の画面が表示された場合は、モデム情報ファイルのインストールはできません。「6-1. 困ったときのQ&A」( P.105)を参照してください。



[デバイスマネージャ] ウィンドウが表示されます。

- 6 [モデム] アイコンの前の [ + ] をクリックします。



- 7 「標準 PCMCIA カードモデム」の上で右クリックし[プロパティ]を選択します。



[標準 PCMCIA カードモデムのプロパティ]画面が表示されます。

RC45 よりも先に別のモデムカードをインストールしていた場合、標準 PCMCIA カードモデムのうしろに「# 2」などの文字が付くことがあります。

標準 PCMCIA カードモデムが複数表示される場合は、RC45 以外の PCMCIA カードモデムをいったんパソコンから取り外してください。

- 8 [ドライバ]タブをクリックします。



- 9 **ドライバの更新** ボタンをクリックします。



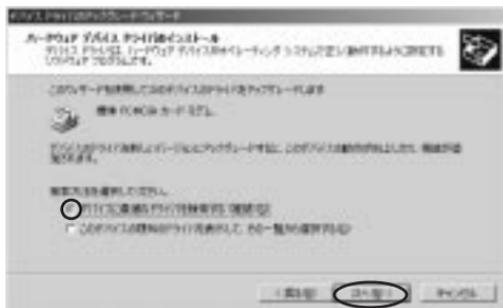
[デバイスドライバのアップグレードウィザード]画面が表示されます。

- 10 **次へ** ボタンをクリックします。



ハードウェアデバイスドライバをインストールする画面が表示されます。

- 11 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択して **次へ** ボタンをクリックします。



ドライバファイルを指定する画面になります。

- 12 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMをパソコンにセットし、「検索場所のオプション」でセットしたドライブだけを  にします。セットしていないドライブはクリックして  にします。



CD-ROMをセットしたあとに『セットアップガイド』のメニュー画面が表示されたときは、[ CD-ROMの終了 ]をクリックして『セットアップガイド』を終了させます。

- 13 **次へ** ボタンをクリックします。

ドライバファイルの検索結果が表示されます。

- 14 インストールするファイル名が「mdmrc45.inf」と表示されていることを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



上記ファイル名が表示されない場合は 12 でモデム情報ファイルのあるドライブを正しく指定したかを確認してください。

[ デジタル署名が見つかりませんでした ] 画面が表示されます。

- 15 **はい** ボタンをクリックします。



この画面が表示されても、利用上の制約はありません。  
デバイスドライバがアップグレードされます。

- 16 **完了** ボタンをクリックします。



モデム情報ファイルのインストールが終了し、[ AtermRC45のプロパティ ] 画面にもどります。

- 17 **閉じる** ボタンをクリックします。  
[ デバイスマネージャ ] ウィンドウにもどります。
- 18 [ デバイスマネージャ ] ウィンドウを閉じます。  
[ システムのプロパティ ] 画面にもどります。
- 19 **OK** ボタンをクリックします。  
[ コントロールパネル ] ウィンドウにもどります。
- 20 [ コントロールパネル ] ウィンドウを閉じます。

「4-2. らくらくアシスタントで設定する」( P.81 )に進みます。

## 4-2. らくらくアシスタントで設定する

### らくらくアシスタントとは

添付CD-ROM『AtermIWX70&RC45ユーティリティ集』に収録されている『らくらくアシスタント』を使うと、インターネットに接続するための下記の設定が画面に表示される案内にそって簡単にできます。

ワイヤレスシリーズ親機経由で接続するか、携帯電話またはPHSで接続するかを選択

ワイヤレスシリーズ親機を経由する場合の親機の機種を選択

プロバイダの設定

ワイヤレスシリーズ親機とRC45の無線区間の通信速度と、アクセスポイントへの通信速度の設定

ワイヤレスシリーズ親機(AtermIWX70)を経由するときの親機のモード指定通信の設定

ワイヤレスシリーズ親機にAtermIWX70をお使いの場合は『IWX70&RC45らくらくアシスタント』を使用します。親機がAtermWM56またはAtermIW50/Dの場合は『AtermRC45ユーティリティ』を使用します。またインターネット接続の設定のほかに、ユーティリティファイルのバージョンなどを表示する「ユーティリティのファイル情報」の機能があります。

『らくらくアシスタント』の使い方はWindows® 98/Windows® 95の場合と同様です。次のページを参照して、インストールと設定をしてください。

「らくらくアシスタントのインストール」( P.52 )

「らくらくアシスタントの起動のしかた」( P.56 )

「らくらくアシスタントで設定する」( P.59 )



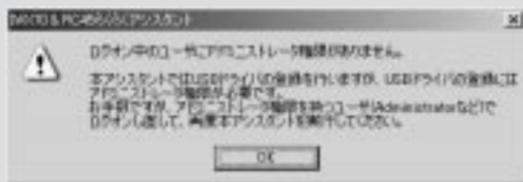
『IWX70&RC45らくらくアシスタント』は別売のワイヤレスシリーズ親機「AtermIWX70」とRC45の両方の設定ができます。IWX70をお持ちの場合は、RC45を接続したパソコンを使って無線でIWX70の設定をすることができます。



IWX70 などのワイヤレスシリーズ親機の機能や設定のしかたなどは、親機に添付の取扱説明書を参照してください。

らくらくアシスタントを使わないで設定する場合は、添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」の「2. 手動セットアップ」を参照し、手動で設定してください。

らくらくアシスタントを使用するときには、Administratorの権限が必要です。次の画面が表示された場合は、「6-1. 困ったときのQ&A」( P.105 )を参照してください。



## 4-3. インターネットに接続する

### 接続を確認する

プロバイダにダイヤルし、正しく接続できるか確認します。

- 1 インターネットに接続するワイヤレスシリーズ親機または携帯電話、PHSを通信できるように準備します。
- 2 「2-1. RC45のつなぎかた」( P.30 )を参照し、RC45をパソコンに取り付けます。
- 3  [設定] [ネットワークとダイヤルアップ接続]を選択します。
- 4 接続アイコン(例: BIGLOBE64)をダブルクリックします。



BIGLOBE64

[接続]画面が表示されます。

- 5 プロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料にしたがって、「ユーザー名」(ユーザID)と「パスワード」を入力します。



「パスワードを保存する」をクリックして  にしておくと、次回の接続からパスワードを入力する必要がなくなります。

**6** **ダイヤル** ボタンをクリックします。

ワイヤレスシリーズ親機または携帯電話、PHSからプロバイダにダイヤルします。



ユーザー名とパスワードの認証をおこない、確認できるとプロバイダのホストコンピュータに接続され、[ 接続完了 ] 画面とタスクトレイに [ ネットワークとダイヤルアップ接続 ] アイコンが表示されます。

**7** **OK** ボタンをクリックします。



**8** [ ネットワークとダイヤルアップ接続 ] アイコンをクリックします。



[ 状態 ] 画面が表示されます。

**9** **切断** ボタンをクリックします。



回線への接続が切断されます。



お願い

通信相手に接続できなかった場合にRC45とワイヤレスシリーズ親機が同一番号に再発信する回数は、最初の発信から数えて3分間で2回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間をおいてから接続し直してください。  
接続できないときは「6-1. 困ったときのQ & A」( P.103 )を参照してください。



お知らせ

アクセスポイントに接続したあとに認証の失敗などで接続できなかったときも、通信料金がかかります。  
接続先の「電話番号」の末尾に文字を付加して接続方法を指定して発信することもできます。詳細は添付 CD-ROM に収録されている「データ通信ガイド」の「2 . 手動セットアップ」を参照してください。

ご使用の前に

RC45を使用する  
までの流れ

Windows 98/Windows 95  
をお使いの方は

Windows 2000  
をお使いの方は

Windows CE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

## ホームページを見る

プロバイダに接続してインターネットのホームページを見るときは「ブラウザソフト」を使用します。ブラウザソフトの設定や使い方については、ブラウザソフトの「ヘルプ」などを参照してください。

- ① 「接続を確認する」( P.83 )の①～④を参照し、回線を接続します。  
ワイヤレスシリーズ親機または携帯電話、PHSがプロバイダに電話をかけ、インターネットに接続します。
- ② Internet ExplorerやNetscape Navigatorなどのブラウザソフトを起動します。
- ③ 「アドレス」に見たいホームページのアドレスを入力し、キーを押します。

例：Aterm ホームページ      <http://aterm.cplaza.ne.jp/>



画面はInternet Explorer Ver. 5.0を使用したときの例です。  
AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年6月現在のものです。

- ④ [ファイル] [終了]を選択し、ブラウザソフトを終了します。

- 5 [ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをクリックします。



[状態]画面が表示されます。

- 6 [切断] ボタンをクリックします。



回線への接続が切断されます。



インターネットの接続を終了するときには、ブラウザソフトを終了しただけでは回線は切断されません。必ず[ネットワークとダイヤルアップ接続]で切断操作をしてください。

## RC45 センターを利用する

添付CD-ROM『AtermIWX70&RC45ユーティリティ集』に収録されている『RC45 センター』を使用すると次の機能が利用できます。

### 電波状況の確認

RC45とワイヤレスシリーズ親機とのあいだの電波状況を調査し、通信可能な状態かどうかを表示します。

### 接続

ワイヤレスシリーズ親機と接続したときの設定と、携帯電話やPHSと接続したときの設定など、インターネット接続の設定を複数登録している場合に、接続をメニューから選択して接続することができます。

### システム番号切り替え

RC45を複数のワイヤレスシリーズ親機に増設登録している場合に、接続する親機を選択します。(「7-1. 接続する親機を選択」 P.118)

『RC45センター』の使い方は「3-4. インターネットに接続する」の「RC45センターを利用する」( P.71 )を参照してください。



『RC45センター』を実行中は、他の通信ソフトを使用しないでください。  
RC45でインターネットに接続する前に、『RC45センター』を使用して安定した無線電波状況であるかを確認してから接続を実行してください。なお電波状況は変動するので何回か電波状況を調査し、安定した状態であることを確認してからインターネットに接続してください。

## 5 . WindowsCE をお使いの方は

WindowsCE を搭載したモバイルギア と RC45 を使ってインターネットに接続する手順を説明します。

ネットワークの設定をする



インターネットに接続する

ご使用の前に

RC45 を使用する  
までの流れ

Windows98/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

Windows® CE は Microsoft® Windows® CE operating system の略です。

## 5-1. ネットワークの設定をする

インターネットにダイヤルアップ接続をするための設定をします。

### リモートネットワークの設定

- 1 「2-1. RC45のつなぎかた」( P.30 )を参照し、RC45をモバイルギアに取り付けます。
- 2 **リモート** [プログラム] [通信] [リモートネットワーク]を選択します。
- 3 [新しい接続]アイコンをダブルタップ(ダブルクリック)します。



#### 新しい接続

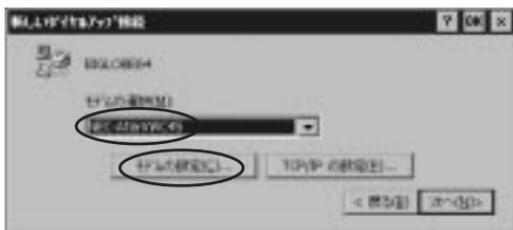
[新しい接続]画面が表示されます。

- 4 「接続名」に接続するプロバイダの名前を任意に入力します。  
ここでは例として「BIGLOBE64」と入力します。
- 5 「接続の種類」で「ダイヤルアップ接続」を選択し、**次へ** ボタンをタップ(クリック)します。



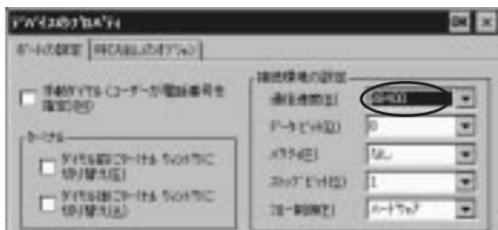
[新しいダイヤルアップ接続]画面が表示されます。

- 6 「モデムの選択」で「NEC-AtermRC45」を選択し、**モデムの設定** ボタンをタップします。



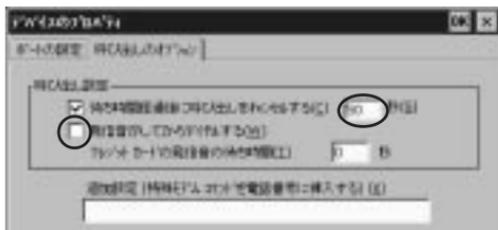
[デバイスのプロパティ] 画面が表示されます。

- 7 接続環境の設定の「通信速度」で「38400」を選択します。



- 8 [呼び出しのオプション] タブをタップします。

- 9 「待ち時間経過後に呼び出しをキャンセルする」を「50 秒」にし、「発信音がしてからダイヤルする」をタップして にします。



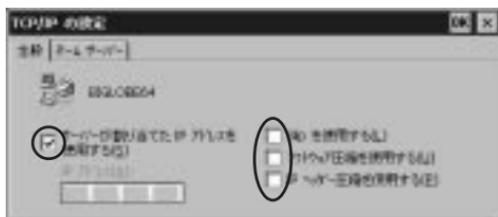
- 10 **OK** ボタンをタップします。

[新しいダイヤルアップ接続] 画面にもどります。

- 11 **TCP/IPの設定** ボタンをタップします。

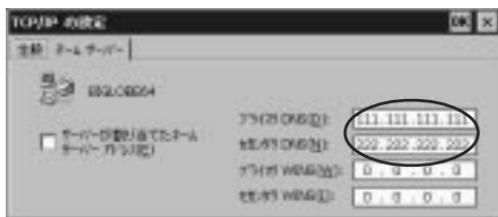
[ TCP/IP の設定 ] 画面が表示されます。

- 12 「サーバーが割り当てた IP アドレスを使用する」を 、「Slip を使用する」「ソフトウェア圧縮を使用する」「IP ヘッダー圧縮を使用する」をタップして  にします。



- 13 [ ネームサーバー ] タブをタップし、「サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス」をタップして  にします。

- 14 プロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料にしたがって DNS を入力します。



「セカンダリ DNS」はプロバイダから指示がなければ、入力しなくても問題ありません。

- 15 **OK** ボタンをタップします。

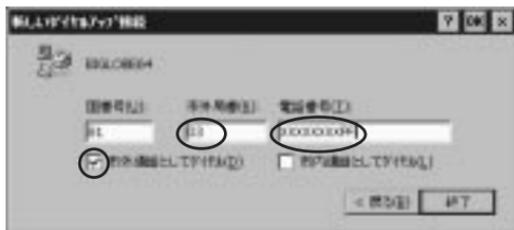
[ 新しいダイヤルアップ接続 ] 画面にもどります。

- 16 **次へ** ボタンをタップします。

17

アクセスポイントの電話番号を入力します。

「市外通話としてダイヤル」をタップして  にし、市外局番と電話番号を入力します。



接続方法によって、次の表のように電話番号の末尾に文字を入力します。

#### IWX70 を経由する場合

経由する機器	親機の設定	無線区間の通信速度	接続するアクセスポイント	電話番号末尾に入力する文字
IWX70	PIAFSスルー	32 kbps	PIAFS 32K対応アクセスポイント	PF0
		64 kbps	PIAFS 64K対応アクセスポイント	PD0
	プロトコル変換	32 kbps	非同期9.6kbps対応アクセスポイント	PF1
		64 kbps		PD1
		32 kbps	非同期19.2kbps対応アクセスポイント	PF2
		64 kbps		PD2
		32 kbps	非同期28.8kbps対応アクセスポイント	PF3
		64 kbps		PD3
		32 kbps	非同期38.4kbps対応アクセスポイント	PF4
		64 kbps		PD4
		32 kbps	非同期48kbps対応アクセスポイント	PF5
		64 kbps		PD5
		32 kbps	非同期57.6kbps対応アクセスポイント	PF6
		64 kbps		PD6
		32 kbps	ISDN同期64Kアクセスポイント	PF7
		64 kbps	ISDN同期64Kアクセスポイント	PD7
		64 kbps	ISDN同期64Kアクセスポイント (ITMUX64Kモード)	PA
		64 kbps	ISDN同期128KマルチリンクPPPアクセスポイント (ITMUX128Kモード)	PB

ご使用の前に

PC4.5を使用する  
までの流れWindows98/Windows95  
をお使いの方はWindows2000  
をお使いの方はWindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

## その他の親機を経由する場合

経由する機器	親機の設定	無線区間の通信速度	接続するアクセスポイント	電話番号末尾に 入力する文字
IW50/D	PIAFS スルー	32kbps	32K対応PIAFSアクセスポイント	PF
		64kbps	64K対応PIAFSアクセスポイント	PD
	プロトコル 変換	32kbps	ISDN同期64Kアクセスポイント	PF
		64kbps	ISDN同期64Kアクセスポイント	PD
WX1 IW60 IW60HS DSU	PIAFS スルー	32kbps	32K対応PIAFSアクセスポイント	PF
	プロトコル 変換	32kbps	ISDN同期64Kアクセスポイント	PF
WM56	-	32kbps	アナログアクセスポイント	PF
		64kbps	アナログアクセスポイント	PD

## 携帯電話 / PHS を接続する場合

接続する機器	無線区間の通信速度	接続するアクセスポイント	電話番号末尾に 入力する文字
携帯電話	9600bps	アナログアクセスポイントまたはクイックナンバーの電話番号	PC
PHS	32kbps	PIAFS32K対応アクセスポイント	PF
	64kbps	PIAFS64K対応アクセスポイント	PD

- 18** 終了 ボタンをタップします。

[ リモートネットワーク ]画面にもどり、**4** でつけた名前の接続アイコンができます。

- 19** 接続アイコン (例: BIGLOBE64) をダブルタップします。



[ダイヤルアップ接続]画面になります。

- 20 [ダイヤルのプロパティ] ボタンをタップします。



[ダイヤルのプロパティ] 画面になります。

- 21 [追加] ボタンをタップします  
[発信元の作成] 画面になります。

- 22 「AtermRC」と入力し、[OK] ボタンをタップします。

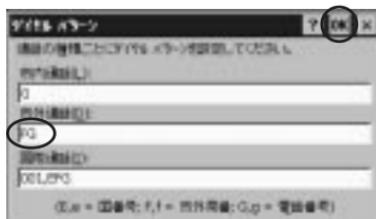


- 23 [ダイヤルパターン] ボタンをタップします。



[ダイヤルパターン] 画面になります。

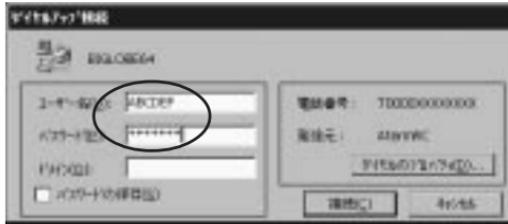
- 24 「市外通話」に「FG」と入力し、[OK] ボタンをタップします。



[ダイヤルのプロパティ] 画面にもどります。

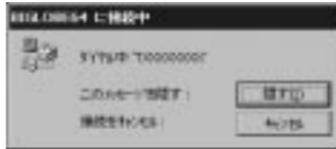
- 25 **OK** ボタンをタップします。  
[ダイヤルアップ接続]画面にもどります。

- 26 プロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料にしたがって「ユーザー名」(ユーザID)と「パスワード」を入力します。「ドメイン名」は空白にしておきます。



「パスワードの保存」をタップして  にしておくと、次回の接続からパスワードを入力する必要がなくなります。

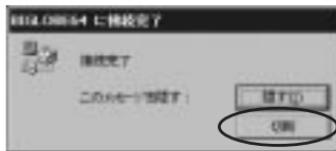
- 27 **接続** ボタンをタップします。  
「接続中」と表示されたあと [接続完了]画面が表示されます。



タスクトレイにダイヤルアップ接続アイコンが表示され、インターネットに接続した状態になります。



- 28 **切断** ボタンをタップします。



回線への接続が切断されます。



通信相手に接続できなかった場合にRC45とワイヤレスシリーズ親機が同一番号に再発信する回数は、最初の発信から数えて3分間で2回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間をおいてから接続し直してください。  
アクセスポイントに接続したあとに認証の失敗などで接続できなかったときも、通信料金がかかります。  
接続できないときは「6-1. 困ったときのQ&A」( P.104 )を参照してください。

ご使用の前に

RC45を使用する  
までの流れ

Windows8/Windows9/5  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

## 5-2. インターネットに接続する

### ホームページを見る

プロバイダに接続してインターネットのホームページを見るときは「ブラウザソフト」を使用します。ブラウザソフトの設定や使い方については、ブラウザソフトの「ヘルプ」などを参照してください。

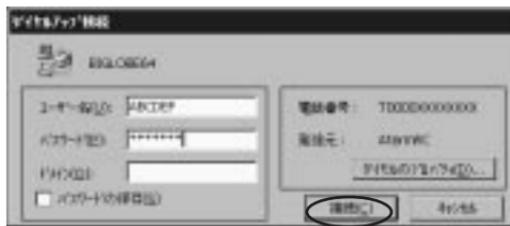
- 1 **スタート** [プログラム] [通信] [リモートネットワーク] を選択します。

- 2 接続アイコン（例：BIGLOBE64）をダブルタップします。



[ダイヤルアップ接続] 画面になります。

- 3 **接続** ボタンをタップします。



ワイヤレスシリーズ親機または携帯電話、PHSからプロバイダにダイヤルし、インターネットに接続します。

- 4 デスクトップの[Internet Explorer]アイコンをダブルタップします。



- 5 「アドレス」に見たいホームページのアドレスを入力し、**[Enter]** キーを押します。

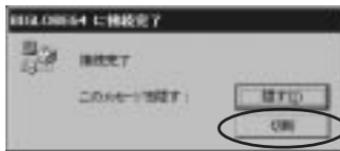
例：Aterm ホームページ <http://aterm.cplaza.ne.jp/>



AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年6月現在のものです。

- 6 **[X]** をタップし、ブラウザソフトを終了します。

- 7 **[切断]** ボタンをタップします。



回線への接続が切断されます。



お願い

インターネットの接続を終了するときには、ブラウザソフトを終了しただけでは回線は切断されません。必ず[接続完了]画面で切断操作をしてください。



## 6 . 困ったときには

「接続ができない」などのトラブルが起きたときの解決方法と、お問い合わせ先を紹介します。

困ったときのQ&A

Aterm についてのお問い合わせ

アフターサービス

PC クリーンスポット

Windows® 2000 は Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。  
Windows® 98 は Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。  
Windows® 95 は Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。  
Windows® CE は Microsoft® Windows® CE operating system の略です。

## 6-1. 困ったときのQ&A

AtermRC45 を使っていて正しく動作しないときにお読みください。

こんなとき	原因と対策
RC45が反応しない パソコンまたはモバイルギア で認識しない	<p>RC45とパソコンまたはモバイルギア が正しく接続されていない</p> <p>RC45とパソコンまたはモバイルギア、RC45と携帯電話またはPHSとの接続を確認してください。 正しく接続されていない場合は、次のように接続し直します。 ( P.30 )</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. RC45をPCカードスロットから取り外します。</li><li>2. 携帯電話を接続する場合は、RC45と携帯電話を携帯電話接続ケーブルでつなぎます。PHSと接続する場合は、RC45とPHSをPHS接続ケーブルでつなぎます。</li><li>3. RC45をもう一度PCカードスロットに取り付けます。</li></ol> <p>RC45を認識しないときは、タスクトレイの[ PCカードのプロパティ ]をクリックして「AtermRC45」と表示されることを確認してください。表示されないときは、モデム情報ファイルが正しくインストールされていません。モデム情報ファイルをもう一度インストールしてください。( 98/95 P.38、2000 P.74 )</p>
データ通信ができない	<p>RC45がデータ通信可能状態になっていない</p> <p>RC45をワイヤレスシリーズ親機(AtermIWX70、WM56、IW50/D、WX1、IW60、IW60HS DSU)の電波が届くところまで移動させてください。 無線が使える範囲は見通し距離で約100mですが、住宅の構造(断熱壁、防音壁、鉄壁)や家具、電子機器などの配置によっては通信距離が短くなります。なるべくワイヤレスシリーズ親機の近くで使用してください。ただし、近すぎると電波が強すぎて使用できない場合があります。1m程度離してご使用ください。 ワイヤレスシリーズ親機との電波状態は『RC45センター』で確認できます。( P.72 )</p> <p>RC45が増設登録 (ID登録) されていない</p> <p>RC45をワイヤレスシリーズ親機の子機として使用するには、増設登録が必要です。登録はお近くのNEC保守サービス受付処またはPCクリーンスポット、お買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでご相談ください。( P.110、P114 )</p>

こんなとき	原因と対策
データ通信ができない	<p>ワイヤレスシリーズ親機に登録されている他の子機が64kbps通信、デュアルリンクワイヤレス通信のいずれかをおこなっている。</p> <p>ワイヤレスシリーズ親機のAtermIWX70、WM56、IW50/D、WX1、IW60、IW60HS DSUで同時に使用できる無線ポートは2つまでです。リモートステーションなどの他の子機が使用中でないか確認してください。ワイヤレスシリーズ親機のPHSランプが赤色に点滅しているときは、無線ポートが2つとも使用中の状態です。子機の通話が終わるのを待ってご使用ください。（RC45ではPIAFS64Kの接続となり、デュアルリンクワイヤレス通信は利用できません。）</p>
インターネットに接続できない	<p>回線が混雑している</p> <p>回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、時間をおいてから接続してください。</p>
	<p>アクセスポイントの電話番号が間違っている</p> <p>電話番号を確認してください。</p>
	<p>ユーザIDまたはパスワードが間違っている</p> <p>プロバイダから発行されたユーザID、パスワードの半角、大文字、小文字が正しく入力されているか確認してください。</p>
	<p>自動発信の規制にかかっている</p> <p>通信相手に接続できなかった場合にRC45とワイヤレスシリーズ親機が同一番号に再発信する回数は、最初の発信から数えて3分間で2回以内に制限されています。別の番号にかけるか、時間をおいてから接続し直してください。</p>
	<p>経由する親機のシステム番号が間違っている</p> <p>経由する親機が登録されているシステム番号に切り替えてください。（ P.118 ）</p>
	<p>DNSサーバアドレスが間違っている</p> <p>プロバイダに指定されたDNSサーバアドレスを設定してください。</p>
	<p>Windows98/Windows95で、TCP/IPが2重に登録されている</p> <p>すでにTCP/IPがある場合はインストールは不要です。複数インストールされていると接続できなくなるので、1つだけ残して他は削除してください。（ P.49 ）</p>
	<p>モデム情報ファイルがない</p> <p>Windows95からWindows98にバージョンアップした場合などに、すでに組み込んであったモデム情報ファイルが削除されることがあります。「モデム情報ファイルをインストールする」を参照してインストールしてください。（98/95 P.38、2000 P.74）</p>

1 使用の前に

RC45を使用する  
までの流れ

Windows98/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

こんなとき	原因と対策
インターネットに接続できない	<p>ダイヤルアップネットワークの設定が間違っている</p> <p>ダイヤルアップネットワークのプロパティで、サーバの種類の詳細オプションをクリックしてすべて にします。Windows98は「データの暗号化を使用する」「この接続のログファイルを記録する」の2つ、Windows95は「ネットワークへのログオン」「ソフトウェア圧縮をする」「暗号化パスワードを使う」の3つの項目があります。使用できるプロトコルはネットワークプロトコルで「TCP/IP」のみにします。  <input type="button" value="TCP/IP設定"/> ボタンをクリックし、「IPヘッダー圧縮を使う」をにします。リモートネットワークの「ゲートウェイを使う」は変更しません。</p> <p>ノートパソコンに内蔵されている赤外線モデムがあると使用できないことがあります。</p> <p>内蔵モデムを削除してください。</p>
らくらくアシスタントが起動しない	<p>RC45をPCMCIAカードとして認識させている</p> <p>Windows98/Windows95の場合は、次の手順でモデム情報ファイルの更新をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <input type="button" value="進む"/> [設定] [コントロールパネル] を選択します。</li> <li>2. [システム] アイコンをダブルクリックします。</li> <li>3. [デバイスマネージャー] タブをクリックします。</li> <li>4. [モデム] アイコンの前の <input type="checkbox"/> をクリックします。</li> <li>5. 「標準PCMCIAカードモデム」の上で右クリックし、[プロパティ] を選択します。</li> <li>6. [ドライバ] タブをクリックし、<input type="button" value="ドライバの更新"/> ボタンをクリックします。</li> <li>7. モデム情報ファイルをインストールします。( P.38 ) Windows2000の場合は、モデム情報ファイルをインストールします。( P.74 )</li> </ol>
『らくらくアシスタント』や『らくらくバージョンアップ』が起動しない「COMポートは他のプログラムで使用されています。」と表示される	<p>COMポートやプリンタポートを使用する他のアプリケーションが起動している</p> <p>アプリケーションを終了してください。</p> <p>『らくらくアシスタント』と『らくらくバージョンアップ』を同時に起動しようとした</p> <p>同時には使用できません。</p> <p>ワイヤレスシリーズ親機または携帯電話、PHSで通信中である</p> <p>通信を終了してください。</p>

こんなとき	原因と対策
『らくらくアシスタント』が起動しない モデム情報ファイルのインストールができない 「ログオン中のユーザーにアドミニストレータ権限がありません」と表示される	Windows2000でAdministratorの権限がない  Administrator権限のあるユーザー名でログオンし直して設定してください。 以下の操作でAdministratorの設定をしてください。 1.  [設定] [コントロールパネル] を選択します。 2. [ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。 3. 「このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります」を <input checked="" type="checkbox"/> にします。 4.  ボタンをクリックし、画面の指示にしたがって設定します。
『らくらくバージョンアップ』でのバージョンアップが失敗した	バージョンアップの途中でRC45とパソコンの接続が外れた  正しく接続したあと、再度『らくらくバージョンアップ』を実行してください。
	バージョンアップするファームウェアのファイルが間違っている  バージョンアップ用ファームウェアのファイルを確認してください。RC45用以外のファームウェアでバージョンアップすることはできません。
『AtermIWX70 & RC45ユーティリティ集』のCD-ROMを使用したあとにパソコンが動作しなくなる	『セットアップガイド』のメニューを終了していない  『セットアップガイド』のメニュー画面を終了させてからCD-ROMを取り出さないと、パソコンが動作しなくなることがあります。メニュー画面の [CD-ROMの終了] をクリックし、CD-ROMドライブのアクセスランプが消えたことを確認してからCD-ROMを取り出してください。
ハイパーターミナルをインストールしたい	Windows98/Windows95の設定を確認するときにはハイパーターミナルを使用します。 パソコンによってはハイパーターミナルがインストールされていないので、次の手順でインストールします。  1.  [設定] [コントロールパネル] を選択します。 2. [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。 3. [Windowsファイル] タブをクリックします。 4. 「通信」を選択し、  ボタンをクリックします。 5. 「ハイパーターミナル」をクリックして <input checked="" type="checkbox"/> にし、  ボタンをクリックします。 このとき「CD-ROMが必要です」と表示された場合は、Windows98またはWindows95のCD-ROMをセットします。

1 使用の前に

RC45を使用するまでの流れ

Windows98/Windows95をお使いの方は

Windows2000をお使いの方は

WindowsCEをお使いの方は

困ったときには

付録

こんなとき	原因と対策
RC45の設定を最初からやり直したい 購入したときの状態にもどしたい	RC45の設定を初期化します。ただし、増設登録の設定以外のすべての設定が購入時の状態にもどるのでご注意ください。  ATコマンドの「AT&Fn」コマンドを実行します。
海外で使用したい	RC45は日本国内で使用することを前提としているため、海外では使用できません。また日本語OS以外では使用できません。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご使用の前に

PC45を使用する  
までの流れ

Windows8/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付  
録

## 6-3 . アフターサービス

### ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## 6-4. PC クリーンスポット

### ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

# 7 . 付録

RC45 が複数の親機に登録してある場合の親機の見分け方や、ハイパーターミナルの使いかたなどについて紹介します。

接続する親機の見分け

ハイパーターミナルの使いかた

ホームページ 『AtermStation』

内線データ通信

RC45 仕様

用語集

ご使用の前に

RC45 を使用する  
までの流れ

Windows98/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付  
録

Windows® 2000 は Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。  
Windows® 98 は Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。  
Windows® 95 は Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。  
Windows® CE は Microsoft® Windows® CE operating system の略です。

## 7-1. 接続する親機を選択

1台のRC45を最大4台のワイヤレスシリーズ親機の子機として増設登録できますが、その中で同時に通信ができるのは1台です。

RC45を増設登録した、複数の親機の中から接続する親機を選択します。『RC45センター』で設定します。

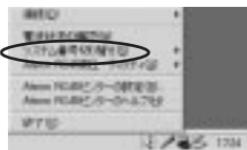
### システム番号切り替え

ワイヤレスシリーズ親機は増設登録の際、RC45のシステム番号10～13に登録されます。親機が1台の場合はシステム番号10に登録します。複数台の親機に増設登録してある場合は以下の手順で切り替えます。

- 1 タスクトレイのインジケータの『RC45センター』アイコンを右クリックします。



- 2 [システム番号切り替え] にマウスポインタを合わせるとRC45のシステム番号が表示されます。



未登録のシステム番号はグレーで表示されます。

- 3 利用する親機のシステム番号をクリックします。  
選択したシステム番号に登録されている親機経由での発信ができます。

## 7-2. ハイパーターミナルの使いかた

Windows® 2000/Windows® 98/Windows® 95 に添付されている『ハイパーターミナル』という通信ソフトを使って、ATコマンドを入力することができます。ATコマンドを使うと、接続の確認や設定の変更ができます。

ハイパーターミナルがパソコンにインストールされていない場合は、「6-1. 困ったときのQ&A」( P.105 )を参照してインストールしてください。

### 接続を確認する

RC45 とパソコンが正しく接続されているか確認します。

Windows98を例に説明します。お使いの環境によっては手順や画面が異なることがあります。

- 1 パソコンを起動し、PCカードスロットにRC45を取り付けておきます。
- 2  [プログラム] [アクセサリ] [通信] [ハイパーターミナル] を選択します。

Windows95 の場合は  [プログラム] [アクセサリ] [ハイパーターミナル] を選択します。

[Hyper Terminal] ウィンドウが表示されます。

- 3 [Hyperterm.exe] アイコンをダブルクリックします。



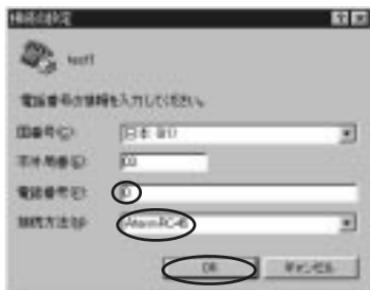
Hyperterm.exe

[接続の設定] 画面が表示されます。

- 4 「名前」に任意の名前を入力し、**OK** ボタンをクリックします。  
ここでは「test1」と入力します。



- 5 「電話番号」に任意の数字（例：0）を入力し、「接続方法」で「AtermRC45」を選択して **OK** ボタンをクリックします。



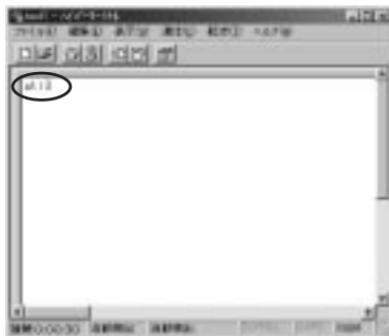
[ 接続 ] 画面が表示されます。

- 6 **キャンセル** ボタンをクリックします。



[ ハイパーターミナル ] ウィンドウが表示されます。

- 7 パソコンのキーボードから半角で「ati3」と入力し、**Enter** キーを押します。



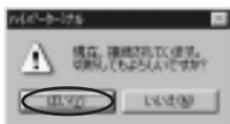
- 8 「AtermRC45 NEC Corporation」と表示されれば、RC45 は正しく接続されています。



上記表示が出ないときは「6-1. 困ったときのQ&A」( P.102 )を参照してください。

- 9 [ファイル] [ハイパーターミナルの終了] を選択します。  
「現在、接続されています。切断してもよろしいですか?」と表示されます。

- 10  ボタンをクリックします。



- 11  ボタンをクリックします。



ハイパーターミナルが終了します。



ATコマンドの詳細は、添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」の「5. ATコマンド」を参照してください。

## 7-3. ホームページ『AtermStation』

Atermシリーズのオンライン情報サービスとして、ホームページ『AtermStation』を開設しています。

### 主なメニュー

Atermシリーズ最新ラインアップ情報  
Atermシリーズユーザ登録受付  
最新ファームウェアのダウンロード  
キャンペーン情報、イベント情報  
登録ユーザ向けサポート情報提供 など

### AtermStation ホームページアドレス

<http://aterm.cplaza.ne.jp/>



画面はInternet Explorer Ver.5.0を使用したときの例です。  
AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年6月現在のものです。

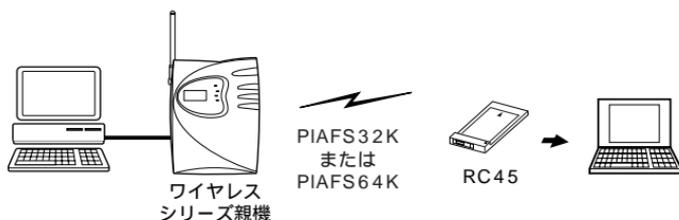
## 7-4. 内線データ通信

ワイヤレスシリーズ親機 (AtermIWX70、WM56、IW50/D、WX1、IW60、IW60HS DSU) に増設登録された子機どうし、または親機に接続されているパソコンに対して内線でデータのやりとりができます。また内線データ通信を利用してファイルやプリンタを共有することができます。

子機はRC45のほかに、AtermRS20などのリモートステーションが利用できます。

### 親・子機間通信

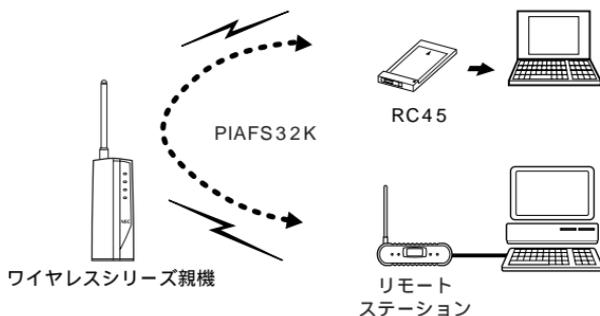
IWX70、IW50/D、IW60、IW60HS DSUが親機の場合、親・子機間通信ができます。



WX1、IW60、IW60HS DSUの場合はPIAFS32K通信のみ可能です。

### 子機間通信

ワイヤレスシリーズ親機を介してPIAFS32Kで子機間通信ができます。



ワイヤレスシリーズ親機がWM56の場合は、親・子機間通信はできません。

着信のときは相手からの通信速度を自動的に判別します。

## 発信のしかた

ワイヤレスシリーズ親機のデータポート（シリアルポート）の内線番号は「81」、子機は親機への増設登録の際に内線番号「91」～「96」のいずれかが割り当てられます。内線番号を指定して内線データ通信をします。

### ダイヤルアップでの発信

ダイヤルアップネットワークの[プロパティ]で「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を にし、「電話番号」に内線番号と以下の文字を付けて発信します。(Windows98/Windows95 添付CD-ROM「データ通信ガイド」の「2-4. RC45のインターネット接続の手動設定 (Windows98/Windows95)」)、Windows2000 添付CD-ROM「データ通信ガイド」の「2-5. RC45のインターネット接続の手動設定 (Windows2000)」)、Windows® CE 「リモートネットワークの設定」P.93)

通信先	経由する親機	データ通信の種類	発信
親・子機間通信	IWX70, IW50/D	PIAFS64K	内線番号の後に「PD」を付ける
	IWX70, IW50/D, IW60, IW60HS DSU	PIAFS32K	内線番号の後に「PF」を付ける
子機間通信	IWX70, WM56, IW50/D, WX1, IW60, IW60HS DSU	PIAFS32K	

## AT コマンドでの発信

「ATD」(ダイヤル発信コマンド)を使って発信します。

親・子機間通信 (PIAFS64K または PIAFS32K)

子機から親機への発信

発信先	データ通信の種類	ATコマンド
IWX70, IW50/D	PIAFS64K	ATD# * 81PD
IWX70, IW50/D, IW60, IW60HS DSU	PIAFS32K	ATD# * 81PF

親機から子機への発信

発信先	データ通信の種類	子機内線番号	ATコマンド
IWX70, IW50/D	PIAFS64K	91	ATD# /91PD
		96	ATD# /96PD
IWX70, IW50/D, IW60, IW60HS DSU	PIAFS32K	91	ATD# /91PF
		96	ATD# /96PF

子機間通信 (PIAFS32K)

経由する親機	子機内線番号	ATコマンド
WM56	1	ATD# * 1PF
	6	ATD# * 6PF
IWX70, IW50/D, WX1, IW60, IW60HS DSU	91	ATD# * 91PF
	96	ATD# * 96PF



着信のときは相手からの通信速度を自動的に判別して着信します。ワイヤレスシリーズ親機がIWX70の場合の内線番号はシリアルポートが「81」、USBポートが「71」になります。



詳細はワイヤレスシリーズ親機の取扱説明書を参照してください。

ご使用の前に

PC4.5を使用する  
までの流れ

Windows98/Windows95  
をお使いの方は

Windows2000  
をお使いの方は

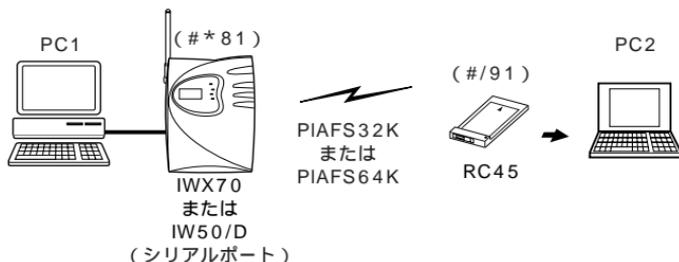
WindowsCE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

## ファイルの共有

RC45などの子機を接続したWindows2000/Windows98/Windows95のパソコンとIWX70またはIW50/Dを接続したWindows2000などのパソコン間で、ファイルまたはプリンタの共有ができます。



内線データ通信をおこなうための設定は、添付CD-ROMに収録されている「データ通信ガイド」の「4. USBネットワーク」を参照してください。

その際、以下のように設定します。

モデムは接続しているAtermのモデム情報を選択します。

[ダイヤルアップネットワーク]の「電話番号」を次のように指定します。

発信先	電話番号の指定	備考
親機 (シリアルポート)	#*81	
親機 (USBポート)	#*71	
他の子機	#*1PF ↓ #*6PF	1~6は子機の内線番号下1桁
親機からRC45	#/91 ↓ #/96	91~96はRC45の内線番号

## 7-5. RC45 仕様

項目	諸元および機能	備考	
公衆 (携帯)	適用回線	デジタル移動通信網 (NTT DoCoMo, au, Tu-Ka, J-PHONE)	
	通信規格	RCR STD-27準拠	
	接続電話機	NTT DoCoMo携帯電話 デジタル方式 (800MHz・ドッチーモを含む) シティホン (デジタル1.5GHz) 9600bpsデータ通信対応機種 au、Tu-Ka、J-PHONE各携帯電話	接続には添付のケーブルを使用 パケット通信は不可
	通信速度	9.6kbps	
公衆 (PHS)	適用回線	PHS網 (NTT DoCoMo, ASTEL)	
	通信規格	RCR STD-28 (3版) 準拠	
	接続電話機	NTT DoCoMo PHS ASTEL PHS	接続には添付のケーブルを使用 PHSはPIAFS 1.0/2.0版対応機種
	通信速度	64kbps (NTT DoCoMo) 32kbps (NTT DoCoMo, ASTEL) 64kbps接続時実効速度最高58.4kbps 32kbps接続時実効速度最高29.2kbps	
自営	適用回線	親機により回線接続 WM56 : アナログ電話回線 IWX70、IW50/D、WX1、IW60、IW60HS DSU : INSネット64	
	通信規格	RCR STD-28 (3版) 準拠	64kbps接続時無線実効速度 : 58.4kbps 32kbps接続時無線実効速度 : 29.2kbps
	通信速度	親機WM56の場合 64kbps接続時実効速度受信時最高56kbps 32kbps接続時実効速度最高29.2kbps 親機IWX70、IW50/Dの場合 64kbps接続時実効速度最高58.4kbps 32kbps接続時実効速度最高29.2kbps	AtermWM56の通信速度は回線の状況により異なる WX1、IW60シリーズの場合は32kbps接続のみ
通信プロトコル	PHS自営 : PIAFS 2.0版 携帯電話 : RCR STD-27		
データ圧縮/伸長	V.42bis		
接続端末	PCMCIA2.1/JEIDA V4.2以降に対応したPCカード スロットを搭載したWindows 2000/Windows 98/ Windows 95が動作するパソコン Windows CE H/PC Pro 3.0に対応したNECモバイル ギア : MC-R700, MC-R520, MC/R320の 各機種	平成12年7月時点の確認機種	
端末速度	非同期 : 2.4/4.8/9.6/19.2/38.4/57.6/115.2 (kbps)		
外形寸法	約109.6(W)×54.0(D)×9.3(H)mm	突起部除く	
質量	約0.05Kg		
電源	DC5V±0.5V	接続端末より供給	
消費電力	約630mW以下	使用状況により変動	
動作環境	温度0～40度 湿度10～90%	結露しないこと	
技術基準 適合認定	認証番号  A00-0559JP  IZAA0066		

ご使用の前に

RC45を使用する  
までの流れ

Windows 98/Windows 95  
をお使いの方は

Windows 2000  
をお使いの方は

Windows CE  
をお使いの方は

困ったときには

付録

## 7-6. 用語集

### A ~ Z

#### AT (エーティー) コマンド

米ヘイズ・コンピュータ・プロダクツ社によって開発されたモデムを制御するためのコマンド(命令)。このコマンドと互換性のあるモデムは、モデムに接続したパソコンなどの機器から設定内容を制御することができる。

#### bps (ビーピーエス)

Bit per secondの略。1秒間に送信できるビット数を表す通信単位。

#### COM (コム) ポート

Communication portの略。RS-232Cとも呼ばれる。モデムなどを接続し、通信をおこなうためのシリアルインタフェース。

#### DNS (ディーエヌエス)

Domain name systemの略。IPアドレスを検索し、取得するためのシステム。

#### ID (アイディー) 登録

無線機能を備えたワイヤレス子機(マルチモバイルカードやリモートステーション)をワイヤレスシリーズ親機に増設登録すること。

#### IP (アイピー) アドレス

インターネットに接続できるアドレスの総称。電子メールなどの受発信地を特定するためのインターネット上の番地。

#### PCMCIA/JEIDA

#### (ピーシエムシーアイイー/ジェイダ)

日本とアメリカの企業によって作られたPCカードの規格を決定している団体。

#### PDC

Personal Digital Cellularの略。デジタル携帯電話のこと。

#### PIAFS (ピアフ)

PHS Internet Access Forum Standardの略。高品質のデータ通信方式の開発のために標準化された規格。

#### PHS 網

PHS専用の移動通信網。

#### TCP/IP (ティーシーピーアイピー)

大学や研究機関などのネットワーク用に開発された通信プロトコル。TCPとIPの2つのプロトコルを組み合わせたもので、インターネット上の通信の基本となっている。

#### URL (ユーアールエル)

Uniform Resource Locatorの略。インターネット上に置かれているホームページなどの位置を特定するための記述方法。一般的にホームページ(Web)アドレスと呼ばれるものは、その一例。

#### V.42bis データ圧縮

通信関係の規格を認定するITU(International Telecommunication Union/国際電気通信連合)に登録されている圧縮方法。

## WindowsCE

Microsoft社が開発した携帯情報端末用OS (Operating System)。操作はWindows95と似ているが、専用のアプリケーションが付属し、ファイル容量はコンパクトに設計されている。WindowsCEを搭載したマシンを「ハンドヘルドPC」と呼ぶ。

## WWW (ダブルユダブリユダブリユ)

World Wide Webの略。HTMLなどのタグ付きテキストを共通の表現手段にして、各ネットワーク間をアクセス可能にしたネットワークシステム。

## あ行

### アクセスポイント

プロバイダまたはパソコン通信サービス業者に接続するための中継地点、または電話番号。

## さ行

### 自己解凍形式

圧縮ファイルにそのファイルの解凍プログラムを組み込んで圧縮すること。圧縮ファイルが自動的に解凍するので、解凍プログラムがなくても解凍できる。

## た行

### ダイヤルアップ

アナログ電話網、INS ネット64などの公衆網を使ってインターネットに接続すること。

### デジタル移動通信網

携帯電話専用の移動通信網。

## デュアルリンクワイヤレス通信

NEC独自の通信方式。リモートステーションのデータポートに接続されたパソコンから無線2チャンネルを使って最大64kbpsの高速データ通信が可能。ワイヤレスシリーズ親機とリモートステーションのデータポート間の内線データ通信およびプロトコル変換モード(非同期 / 同期PPP変換)によって、インターネットのアクセスポイントとも簡単に接続できる。

## 同期

データ伝送において、送信側と受信側の間でタイミングを合わせること。

## は行

### パスワード

ユーザIDを他人に利用されないように、ユーザ本人が設定する文字や数字などの総称。ユーザIDがネットワーク上に公開される名前とすると、パスワードはユーザIDの利用者が本人であることを特定するための暗号。

### ファームウェア

Atermに内蔵されているフラッシュメモリ(不揮発性メモリ)に書き込まれるソフトウェアのこと。新しいバージョンのファームウェアを書き込むと、新機能を使用できるようになる。

### プリインストール

パソコンのハードディスクにあらかじめプログラムがインストールされていること。

## ブラウザソフト

大規模なデータ群から目的のデータを検索・表示するためのソフトウェアの総称。WWWではInternet Explorer(インターネット・エクスプローラ)、Netscape Navigator(ネットスケープ・ナビゲータ)がよく知られている。

## プロトコル

コンピュータでデータ通信を行うために必要な規約の総称。

## プロトコル変換モード

PHS データ端末やリモートステーションからの32kbps また 64kbps PIAFS データをAterm でいったん終端して、通信相手のモードに合わせて、非同期データまたは同期データに変換するモードのこと。通常のターミナルアダプタやPIAFS では対応していないアクセスポイントと通信ができる。

## プロバイダ

インターネットへの接続を代行する会社の総称。正式にはネットワーク・サービス・プロバイダ。ユーザはダイヤルアップまたは専用回線でプロバイダに接続し、インターネットへ接続する。

## や行

### ユーザID

ユーザを識別するための文字や数字などの組み合わせの総称で、ネットワーク上の名前のようなもの。ユーザIDを他人に利用されないためにパスワードとあわせて利用される。

## ら行

### リモートステーション

Atermワイヤレスシリーズ親機の子機として増設されるAterm のことで、PHSと合わせて最大6台まで増設登録できる。この機能を使えばAterm どうしでワイヤレス通信が可能になるので、離れた場所の電話機やパソコンを無線で使うことができる。

# 索引

## 数字

32kbps .....	19
64kbps .....	19

## A

Acrobat Reader .....	13
AC アダプタ .....	32
Administrator .....	74, 82, 105
AtermIW70&RC45 ユーティリティ集 .....	12, 24, 38, 51, 71, 74, 81, 88, 105
AtermRC45 ユーティリティ .....	25, 52, 56, 81
AtermStation .....	22, 69, 86, 99, 122
AT コマンド .....	106, 119
AT コマンドでの発信 .....	125

## B

BIGLOBE .....	60
---------------	----

## C

CD-ROM .....	12, 24, 39, 41, 42, 51, 81, 105
CD-ROM ドライブ名 .....	54
cdmaOne .....	18
COM ポート .....	104

## D

DNS .....	62, 92, 103
-----------	-------------

## I

INS ネット 64 .....	16, 17
Internet Explorer .....	23, 69, 86, 98, 122
IP アドレス .....	92
ITMUX .....	63
IWX70&RC45 らくらくアシスタント .....	25, 52, 56, 81

## M

Microsoft ネットワーククライアント .....	47
---------------------------------	----

## N

NEC パーソナルコミュニケーション インフォメーションセンター .....	107
NEC フィールディング株式会社 .....	109
NEC 保守サービス受付拠点 .....	110
Netscape Navigator .....	23, 69, 86
NTT 西日本 .....	109
NTT 東日本 .....	109

## O

Outlook Express .....	23, 63
-----------------------	--------

## P

PCMCIA .....	17, 30
PCMCIA カードモデム .....	76, 104
PC カードアイコン .....	33
PC カードスロット .....	31, 102

PC カードスロット接続コネクタ	26
PC クリーンスポット	114
PDC	60
PDF ファイル	13
PHS 公衆網	22
PHS 接続ケーブル	24, 28, 31
PHS でインターネットに接続する	19
PHS 電話網	19
PHS 待ち受けモード	22
PHS を接続して使う	22
PHS を接続する	30
PIAFS32K	20, 124
PIAFS64K	20, 124

## Q

Q&A	102
-----	-----

## R

RC45 接続コネクタ	28
RC45 センター	25, 71, 88, 118
RC45 らくらくバージョンアップ	25

## T

TCP/IP	47, 103
--------	---------

## W

Windows2000	25, 34, 73
Windows95	25, 33, 37, 41
Windows98	25, 33, 37, 38, 70
WindowsCE	25, 34, 89

## ア

アクセスポイント	61, 103
アダプタ	48
新しいハードウェア	42
アナログ電話回線	16, 17
アナログモデム	18
アフターサービス	108
安全に正しくお使いいただくために	7

## イ

インジケータ	71
インストール	38, 52, 71, 74
インストールサービス	115
インターネットあんしんパック	115
インターネットに接続する	23, 35, 66, 83, 98
インターネットに接続できない	103
インフォメーションサービス	107

## オ

オートモード	22
オフィスモード	22
親機機種の選択	51, 81
親機経由でインターネットに接続する	16, 51, 81
親機経由で使うには	21
親機の選択	118
親・子機間通信	20, 123

**カ**

- 海外で使いたい ..... 106  
各部の名前とはたらき ..... 26

**キ**

- 基地局 ..... 18

**ク**

- クライアント ..... 48

**ケ**

- ケーブル接続コネクタ ..... 26  
携帯電話接続ケーブル ..... 24, 28, 30  
携帯電話接続コネクタ ..... 28  
携帯電話でインターネットに接続する  
..... 18  
携帯電話を接続して使う ... 22  
携帯電話を接続する ..... 30  
現地調整 ..... 108

**コ**

- 交換機 ..... 18  
公衆携帯電話網 ..... 18, 22  
公衆モード ..... 22  
子機間通信 ..... 20, 124

**サ**

- 再発信 ..... 68, 85, 97

**シ**

- システム番号切り替え ..... 71, 88, 118  
修理 ..... 108  
仕様 ..... 127  
状態表示 LED ..... 26, 27

**セ**

- セットアップガイド ..... 12, 39, 41,  
42, 105  
セットアップサービス ..... 115  
接続を確認する ..... 66, 83

**ソ**

- 増設登録 ..... 21, 102  
増設登録料 ..... 116

**タ**

- 対応機種の確認 ..... 22  
ダイヤルアップアダプタ ... 47  
ダイヤルアップ接続 ..... 47  
ダイヤルアップでの発信 .. 124  
ダイヤルアップネットワーク  
..... 44, 104  
ダイヤルアップネットワークアイコン  
..... 45  
タスクトレイ ..... 33, 67, 71,  
84, 102

**ツ**

- 通信速度 ..... 17, 61, 91,  
94

## テ

---

- デジタル移動通信網 ..... 18, 22
- デバイスドライバウィザード  
..... 41
- デュアルモード ..... 22
- デュアルリンクワイヤレス通信  
..... 103
- 電子マニュアル ..... 13
- 電子メールソフト ..... 23
- 電波状況の確認 ..... 72

## ト

---

- ドッチーモ ..... 22, 24, 30
- 取扱説明書 ..... 24
- 取り付け ..... 30
- 取り外し ..... 33

## ナ

---

- 内線データ通信 ..... 20, 123

## ニ

---

- ニュースアカウント ..... 64

## ネ

---

- ネットワークの設定 ..... 44, 90
- ネットワークプロトコル ... 47

## ハ

---

- ハイパーターミナル ..... 105, 119
- パケット通信 ..... 18
- 箱の中身 ..... 24
- パスワード ..... 67, 83, 96,  
103

## ヒ

---

- 日ごろのお手入れ ..... 10

## フ

---

- ファイルの共有 ..... 126
- ファイル名を指定して実行する  
..... 54
- ブラウザソフト ..... 23, 69, 86,  
98
- ブラウザソフトのアイコンがない  
..... 70
- フロッピーディスク ..... 24, 39, 42
- プロトコル ..... 48
- プロバイダ ..... 23, 60
- プロバイダの設定 ..... 51, 81

## ホ

---

- ホームページ ..... 69, 86, 98,  
122
- 訪問サポートサービス ..... 115
- 保守区分 ..... 109
- 保守契約 ..... 108
- 保証書 ..... 24, 108
- 本書について ..... 11
- 本体 ..... 24, 26

## マ

---

- マルチモバイルカード ..... 16

## ム

---

- 無線区間の通信速度 ..... 51, 62, 81
- 無線ボートの設定 ..... 21

**メ**

- メールアカウント ..... 64  
 メニュー画面が表示されない  
 ..... 54

**モ**

- 持ち込み修理先一覧 ..... 110  
 モデム情報ファイル ..... 24, 25, 38,  
 56, 74,  
 102, 103  
 モバイルギア ..... 17, 32, 90,  
 102

**ユ**

- ユーザID ..... 67, 83, 96,  
 103  
 ユーティリティの役割 ..... 25

**ヨ**

- 用語集 ..... 128

**ラ**

- らくらくアシスタント ..... 25, 51, 81,  
 104  
 らくらくアシスタントが起動しない  
 ..... 104, 105  
 らくらくアシスタントで設定  
 ..... 59  
 らくらくアシスタントの  
 アンインストール ..... 55  
 らくらくアシスタントのインストール  
 ..... 52  
 らくらくアシスタントの起動  
 ..... 56  
 らくらくバージョンアップ  
 ..... 104

**リ**

- リモートステーション ..... 20, 123  
 リモートネットワークの設定  
 ..... 90

**ワ**

- ワイヤレスシリーズ親機 ... 16, 17, 51,  
 60  
 ワイヤレス接続 ..... 16  
 ワイヤレスターミナルアダプタ  
 ..... 16  
 ワイヤレスモデムステーション  
 ..... 16



## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。**フォーメーションサービス**

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

NEC PC クリーンスポットの訪問サービス

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。